データ転送ツール 取扱説明書

第 2.1 版

目次

1. はじめに

グリーンオン・トリニティ データ転送ツール（以下「本ソフトウェア」と記述します）とは、以下の機能を持つソフトウェアです。

(1) GPS ログデータ、歩数計データ、飛距離測定（ショット履歴）データの読み出し
(2) GPS ログデータ、歩数計データ、飛距離測定（ショット履歴）データの消去
(3) コースデータの更新
(4) ファームウェアの更新

すなわち、グリーンオン・トリニティに対する情報の読み書きは、全て本ソフトウェアを通して行うこととなります。
なお、本ソフトウェアの実行には、グリーンオン・トリニティ デバイスドライバをインストールする必要があります。

2. 動作環境

2.1. 動作環境

本ソフトウェアは、以下の環境にて動作します。

OS

- Microsoft Windows XP (Service Pack 3)
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 7

CPU

- Atom 1.6GHz 以上（2GHz 以上推奨）

メモリ

- 1GB 以上（2GB 以上推奨）

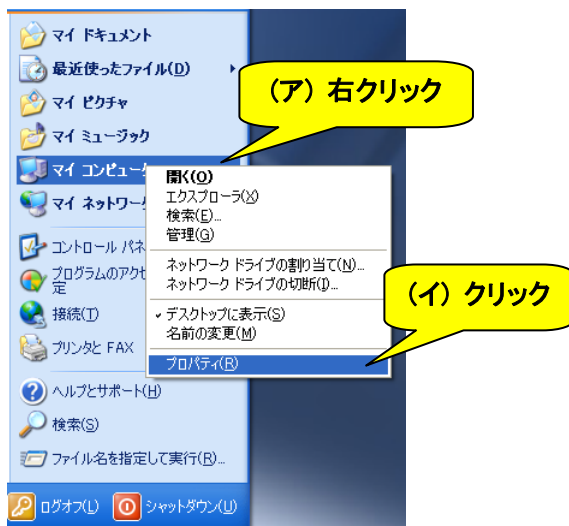
本ソフトウェアは 32 ビット OS と 64 ビット OS の両方で動作します。但し、**インストールを行う際にダウンロードするファイルが 32 ビット OS と 64 ビット OS で異なります**のでご注意ください。

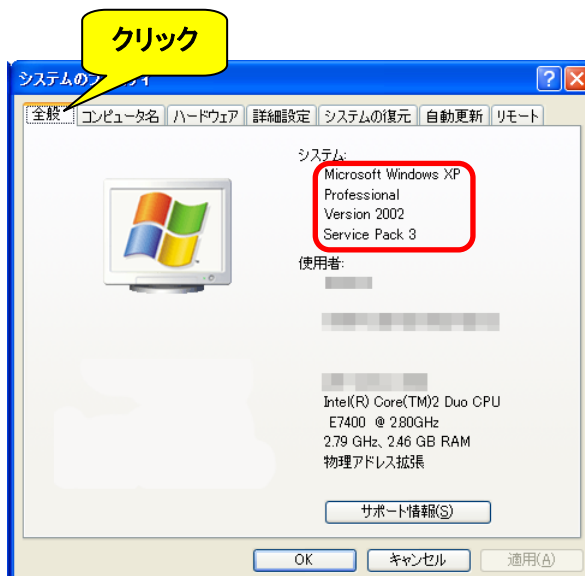
2.2.　32 ビット OS／64 ビット OS の確認方法

お使いのパソコンの OS が 32 ビット OS なのか 64 ビット OS なのかは、以下の方法で確認することができます。

(1) Windows XP の場合は、以下の手順で確認します。

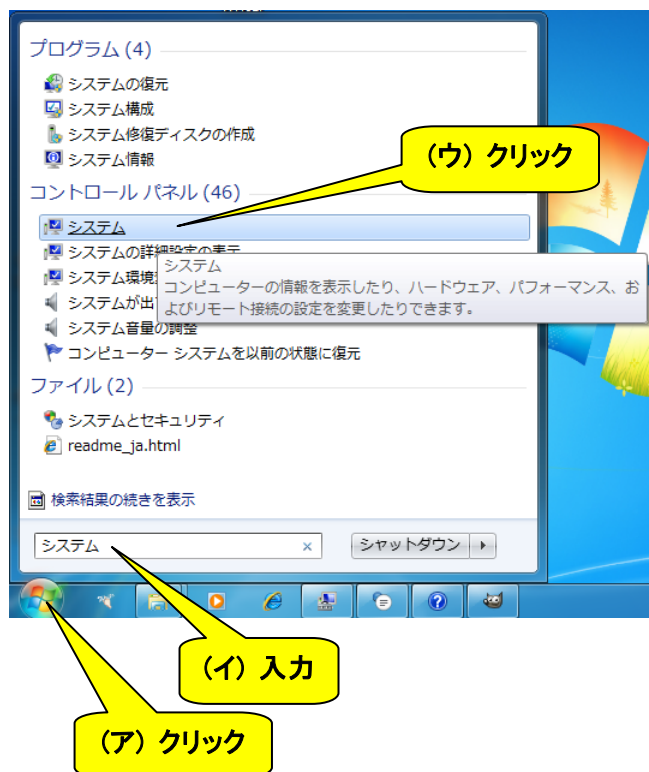
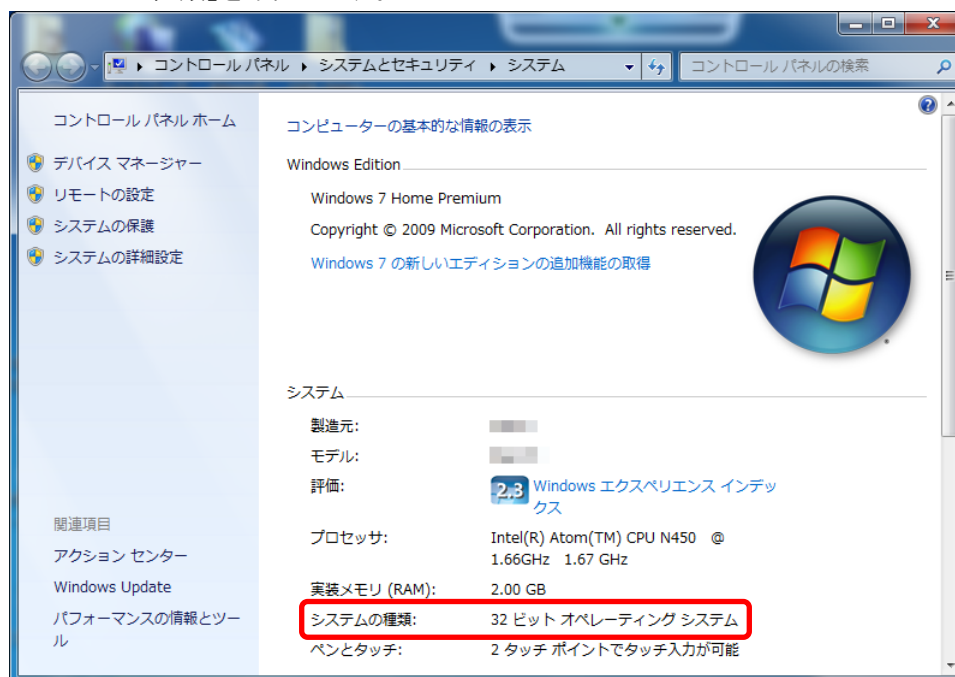
(ア) スタートメニュー→マイ コンピュータ を選択し、右クリックします。

(イ) 「プロパティ」を選択し、クリックします。

(ウ) 「全般」をクリックし、表示された「システム」の内容を確認します。

64 ビット OS の場合は「x64 Edition」と表示されます。（以下の画面表示例は 32 ビット OS です。）

(2) Windows Vista および Windows 7 の場合は、以下の手順で確認します。

(ア) スタートボタンをクリックします。

(イ) 「検索の開始」ダイアログボックスに「システム」と入力します。

(ウ) 表示された検索結果より、「コントロール パネル」内の「システム」をクリックします。

(エ) 「システムの種類」を確認します。

2.3. 写真貼り付け機能の動作環境

本ソフトウェアのバージョン 1.10 より、写真貼り付け機能が利用可能です。本機能を利用する際に必要な周辺機器及びソフトウェアについて、以下に記述します。

(1) デジタルカメラ

本機能の利用には、画像（静止画）の記録形式として「Exif」に対応したデジタルカメラが必要です。
デジタルカメラの Exif への対応状況は、デジタルカメラの取扱説明書またはカタログをご参照ください。

(2) Google Earth

GPS ログデータの閲覧に必要となりますが、古いバージョン（例：5.2 など）をお使いの場合、貼り付けた写真が表示されないことがあります。本機能をご利用の際は、Google Earth のバージョンを 6.0 以降にアップデートさせてからご利用ください。

(3) グリーンオン・トリニティ ファームウェア

本機能のご利用に際しては、ファームウェアの更新は必須ではありません。但し、不具合の修正がなされておりますので、最新版に更新してのご利用をお勧めいたします。

2.4. ショット履歴機能の動作環境

本ソフトウェアのバージョン 1.20 より、ショット履歴機能が利用可能です。本機能を利用する際に必要なソフトウェアについて、以下に記述します。

(1) グリーンオン・トリニティ ファームウェア

本機能のご利用に際しては、グリーンオン・トリニティ本体のファームウェアを「オプション機能搭載バージョン（V1.11）」に更新する必要があります。V1.08 以前または V1.51 以降のファームウェアをお使いの方は、「4.7 ファームウェアの更新」の手順に従い、V1.11 へ更新してください。

(2) Google Earth

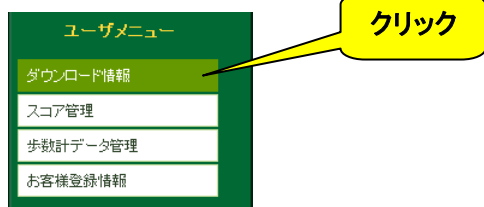
ショット履歴の閲覧に必要となります。

3. インストール

3.1. デバイスドライバ、データ転送ツールのダウンロード

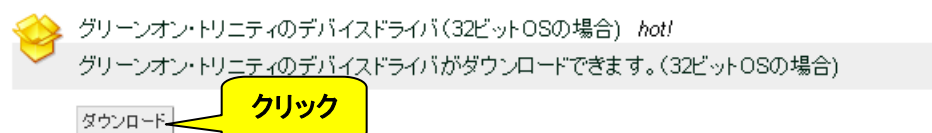
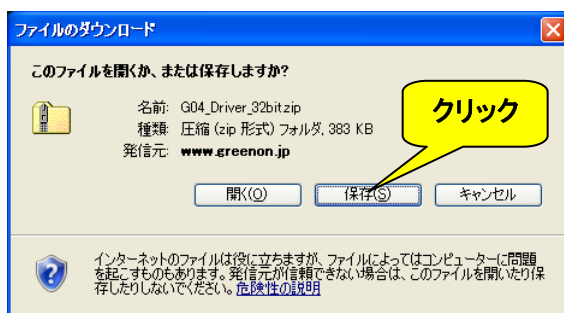
以下の手順にて、グリーンオン・トリニティのデバイスドライバをインストールします。

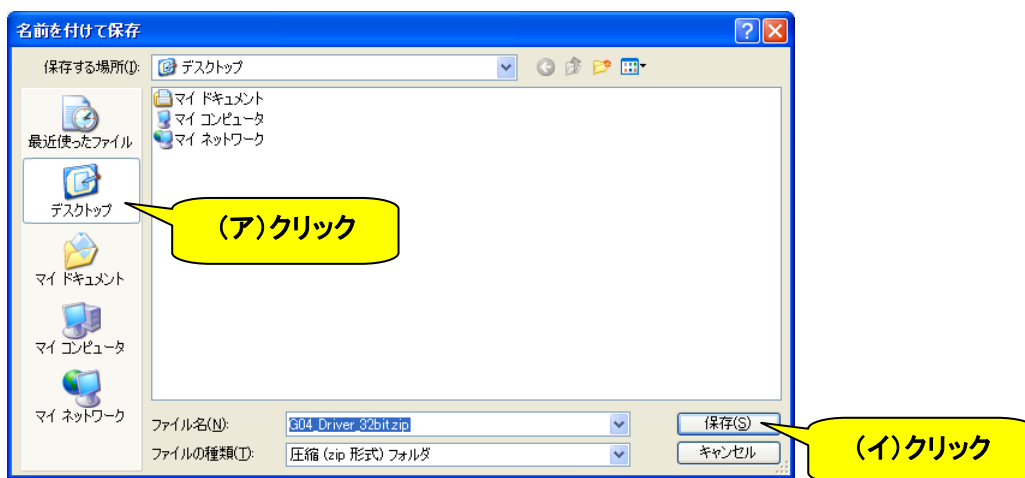
※ はじめてお使いになる時のみ

(1) グリーンオン倶楽部にログインし、「ユーザメニュー」の「ダウンロード情報」をクリックします。

(2) 「ダウンロード」の「グリーンオン・トリニティをお持ちの方はコチラ」をクリックします。

(3) お使いのパソコンの OS が 32 ビット OS の場合は以下を行ってください。

(ア) 「データ転送ツール 32 ビット OS 用」をクリックします。

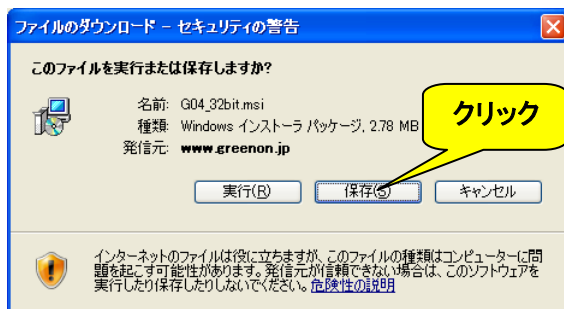
(イ) 「グリーンオン・トリニティのデバイスドライバ(32 ビット OS の場合)」の「ダウンロード」をクリックします。

（ウ）「保存」をクリックし、デバイスドライバファイルの保存を行います。

（エ）ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

（オ）「グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（32 ビット OS の場合）」の「ダウンロード」をクリックします。

グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（32ビットOSの場合）
（V1.22 2011/10/05更新）NEW!
アップデート内容:
・一部のパソコン(Windows Vista/7)にて、「データ保存」を
正常に行えない場合があることへの対応を行いました。
・その他、軽微な修正を行いました。

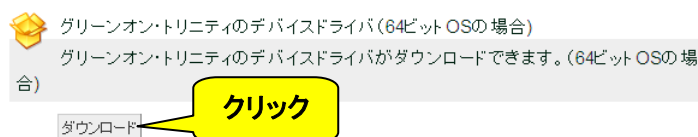
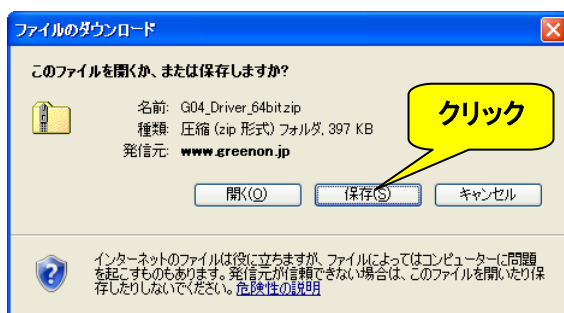
（ご注意）
旧バージョンをインストールしている場合は、旧バージョンを削除の後にインストールしてください。詳しくは「データ転送ツール取扱説明書」をご参照ください。 *hot!*

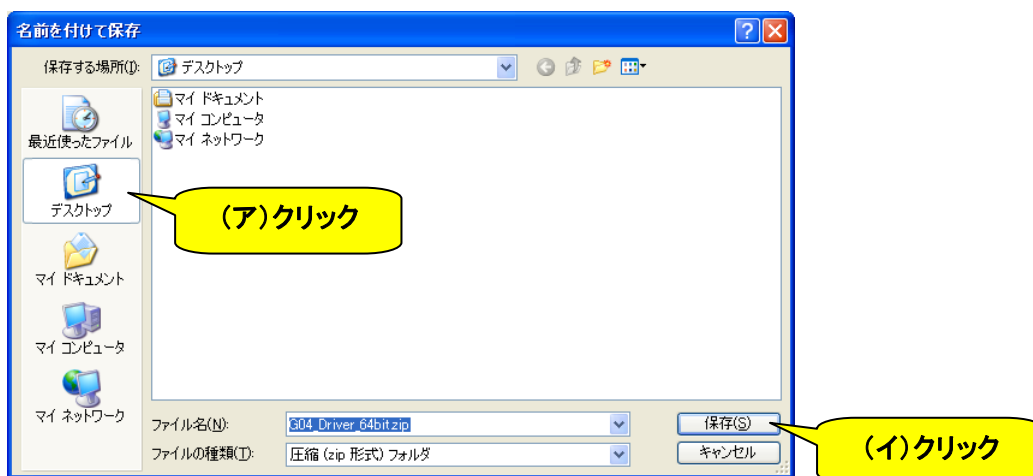
グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（32ビットOSの場合）がダウンロードできます。

(カ) 「保存」をクリックし、インストーラファイルの保存を行います。

(キ) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

(4) お使いのパソコンの OS が 64 ビット OS の場合は以下を行ってください。

(ア) 「データ転送ツール　64 ビット OS 用」をクリックします。

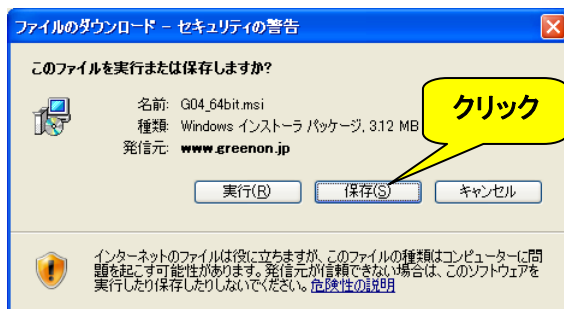
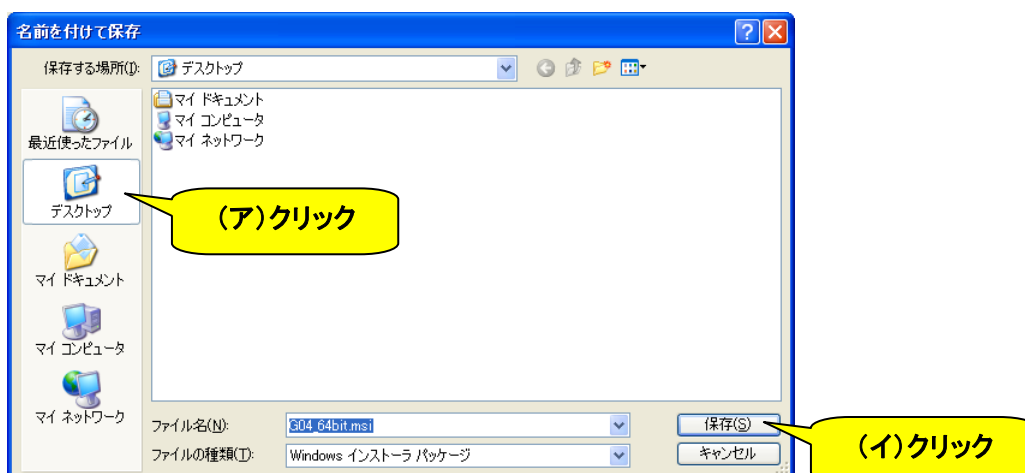
(イ) 「グリーンオン・トリニティのデバイスドライバ(64 ビット OS の場合)」の「ダウンロード」をクリックします。

（ウ）「保存」をクリックし、デバイスドライバファイルの保存を行います。

（エ）ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

（オ）「グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（64 ビット OS の場合）」の「ダウンロード」をクリックします。

グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（64ビットOSの場合）
（V1.22　2011/10/05更新）NEW!
アップデート内容:
・一部のパソコン(Windows Vista/7)にて、「データ保存」を
正常に行えない場合があることへの対応を行いました。
・その他、軽微な修正を行いました。

（ご注意）
旧バージョンをインストールしている場合は、旧バージョンを削除の後にインス トールしてください。詳しくは「データ転送ツール取扱説明書」をご参照ください。　*hot!*

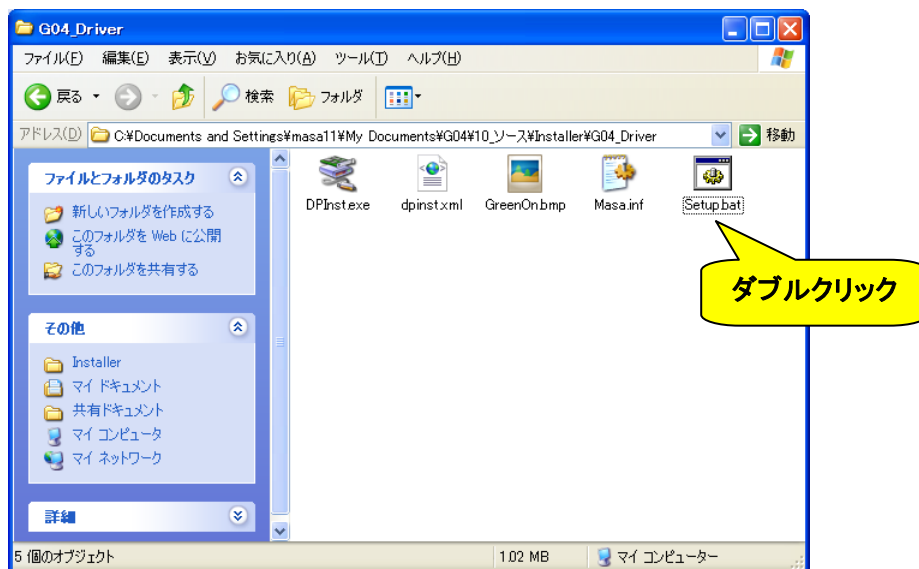
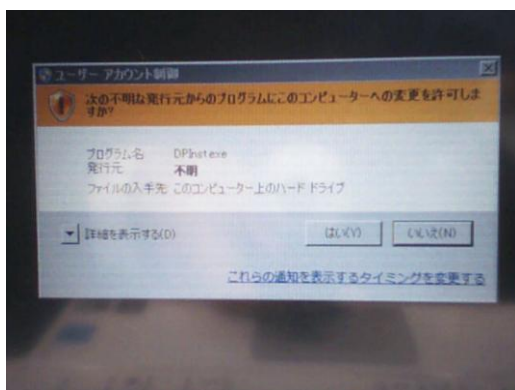
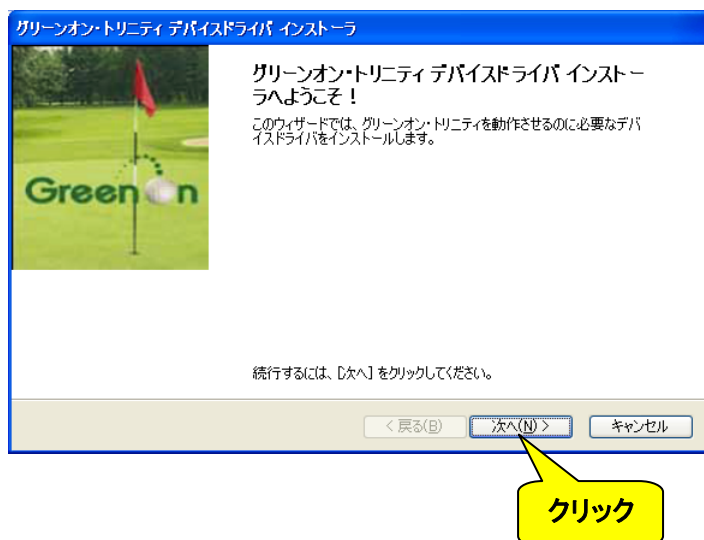
グリーンオン・トリニティのデータ転送ツール（64ビットOSの場合）がダウンロードできます。

(カ) 「保存」をクリックし、インストーラファイルの保存を行います。

(キ) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

3.2. デバイスドライバのインストール

以下の手順にて、グリーンオン・トリニティのデバイスドライバをインストールします。

※ はじめてお使いになる時のみ

(1) デスクトップ上の G04_Driver_32bit.zip(64 ビット OS の場合は G04_Driver_64bit.zip)を右クリックし、「すべて展開」を選択することにより、ZIP ファイルを展開します。(Lhaca のような解凍ツールを使うことも可能です。)

(2) 展開して出来上がった「G04_Driver」フォルダ内の「Setup.bat」をダブルクリックします。

Windows Vista および Windows 7 の場合は、以下のように「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがあります。このような場合は「はい」をクリックしてください。

(3)「次へ」をクリックします。

(4)「完了」をクリックします。

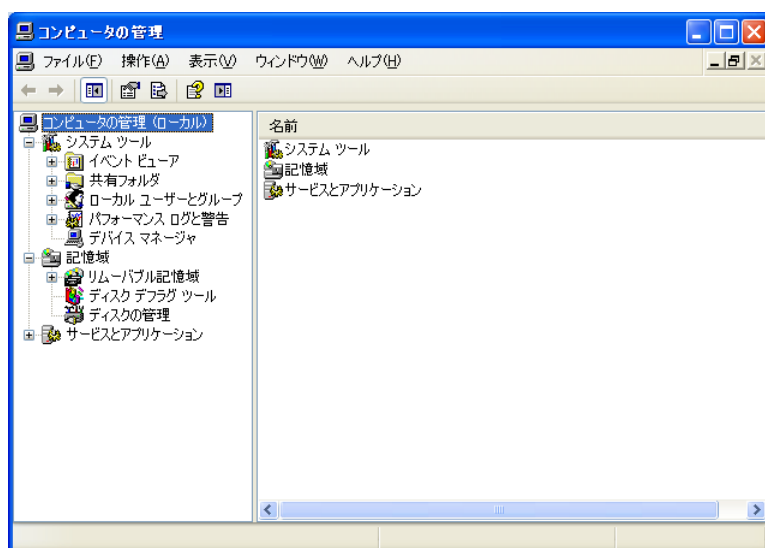
3.2.1.　インストールを行っても認識しない場合

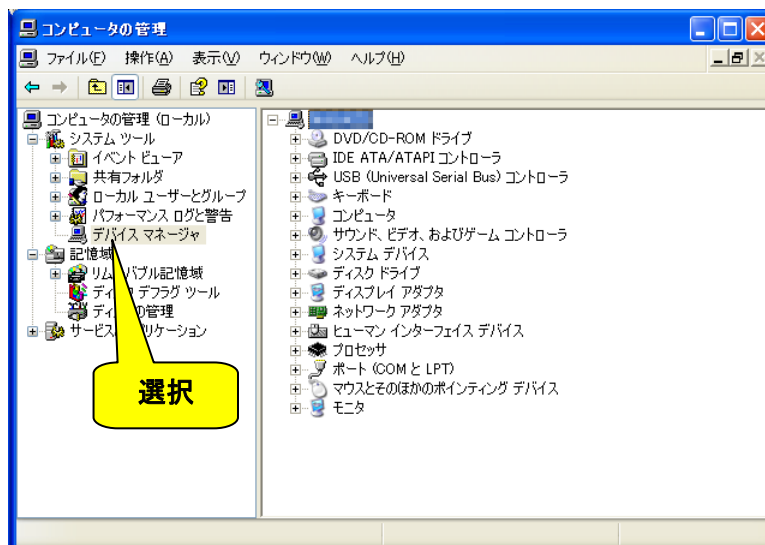
お使いのパソコン環境によっては、ここまでの手順でもグリーンオン・トリニティが正常に認識されない（パソコンと本体を接続しても、本体画面に「USb」が表示されない）場合があります。このような場合は、以下の手順を行ってください。

（以下に示す操作手順は Windows XP の場合です。Windows Vista, 7 についてはデバイスマネージャの表示手順やウィザードの表示が異なるだけで同様の方法でお試しいただけます。）

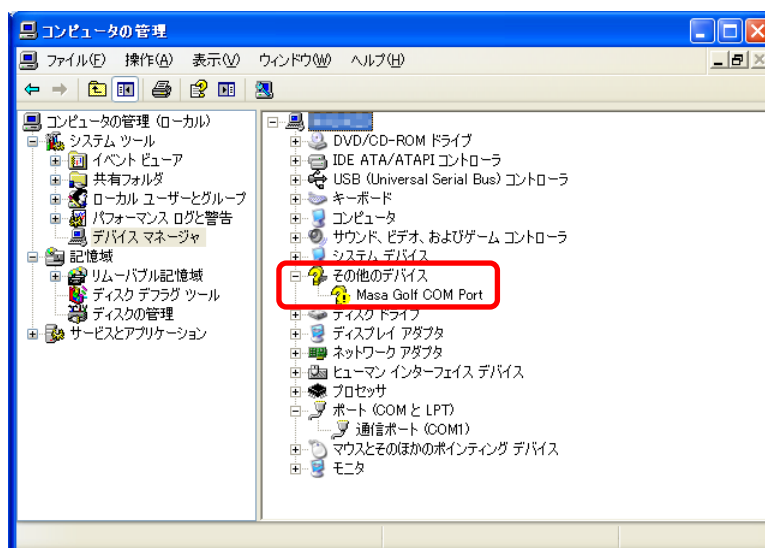
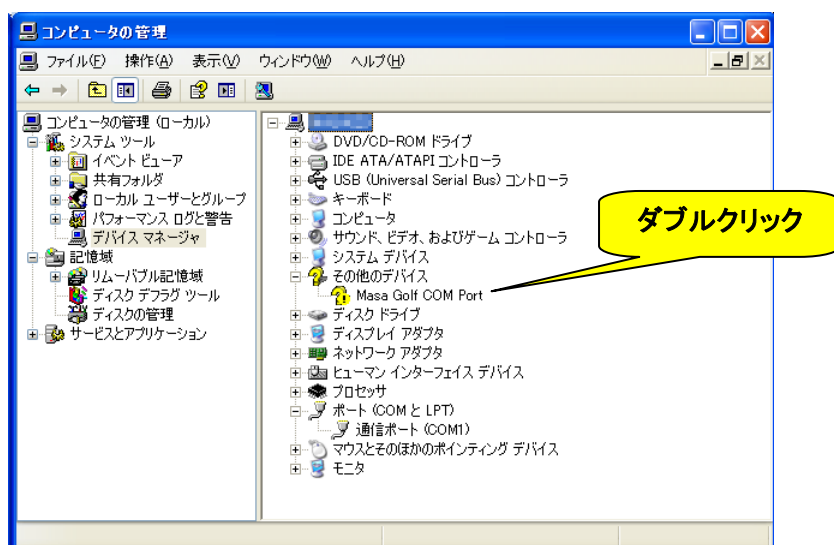
(1) 「スタート」ボタンをクリックします。

(2) 「マイ コンピュータ」を右クリックし、「管理」を選択します。

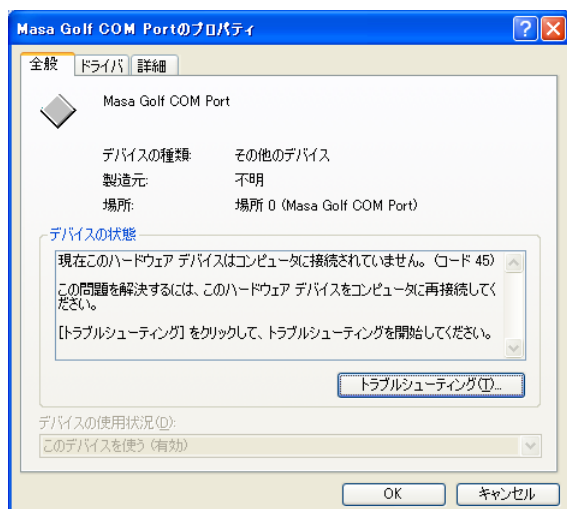
→「コンピュータの管理」ウインドウが表示されます。

(3) 「コンピュータの管理」ウインドウ左側の「デバイス マネージャ」を選択します。

→ウインドウ右側にハードウェア一覧が表示されます。

(4) パソコンとグリーンオン・トリニティを接続します。

→ハードウェア一覧に「その他のデバイス」、「Masa Golf COM Port」が表示されることを確認します。

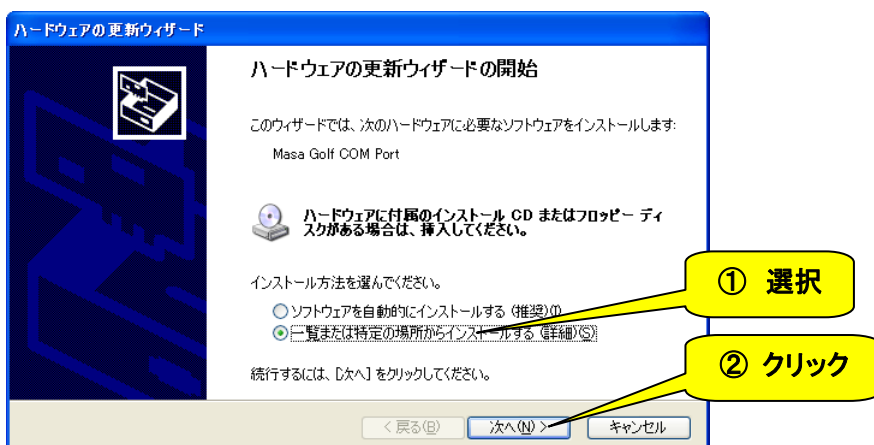
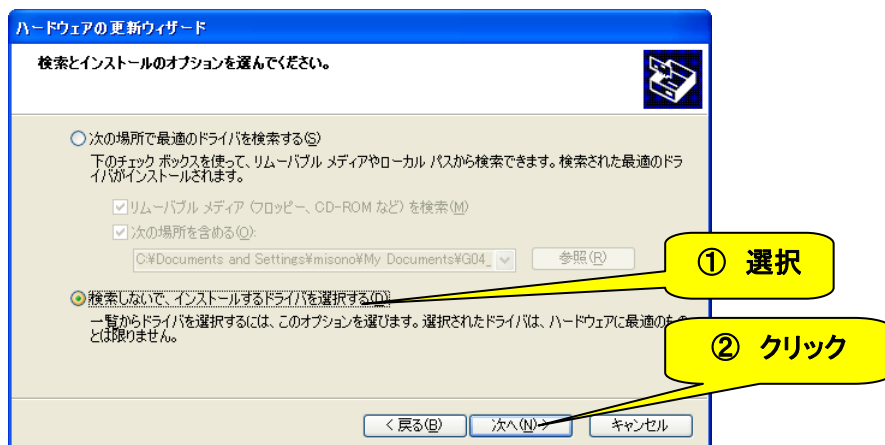
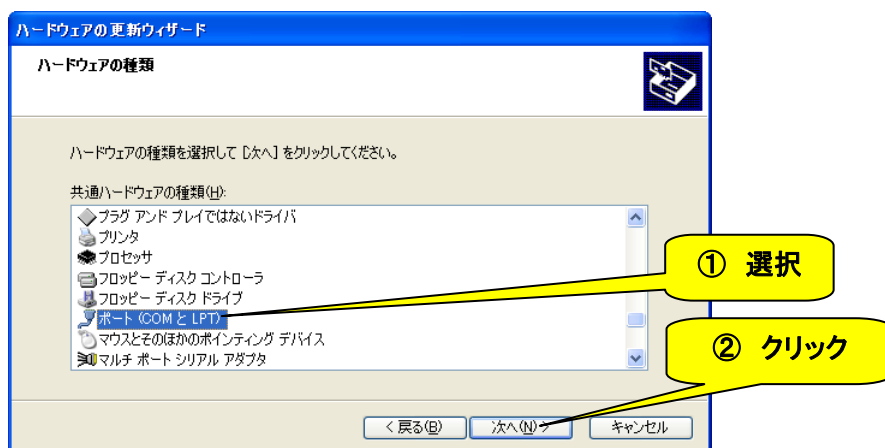
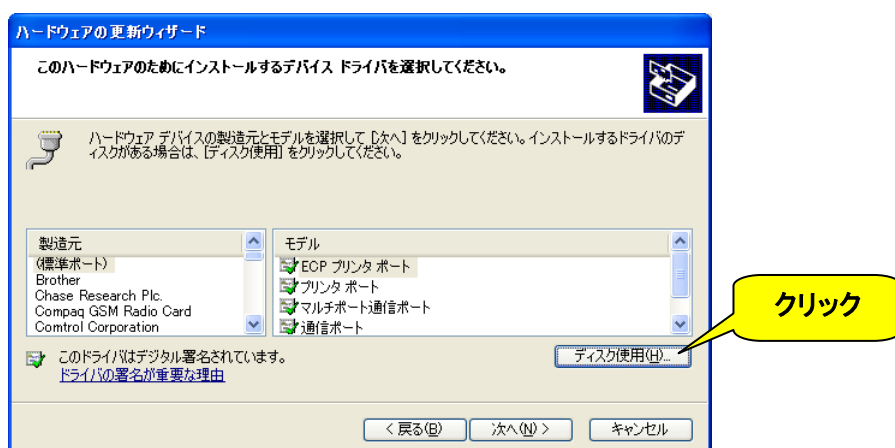
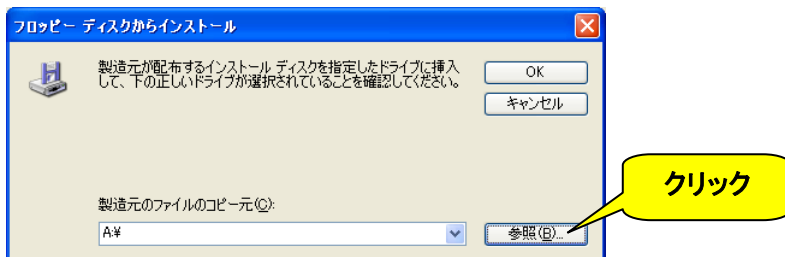
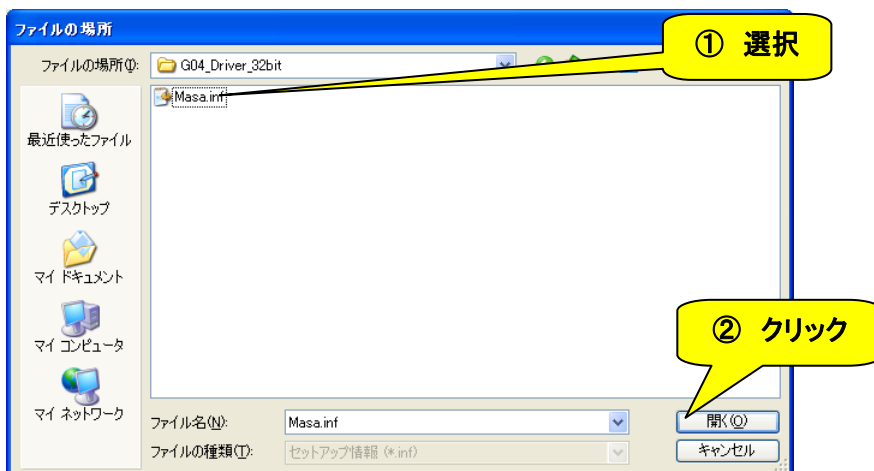
(もしかすると数秒で消えてしまうかもしれません。)

(5) グリーンオン・トリニティを接続して表示された「Masa Golf COM Port」をダブルクリックします。

(表示が数秒で消えてしまった場合は、一旦グリーンオン・トリニティをパソコンから外してから再度接続し、表示されている間にダブルクリックを行ってください。)

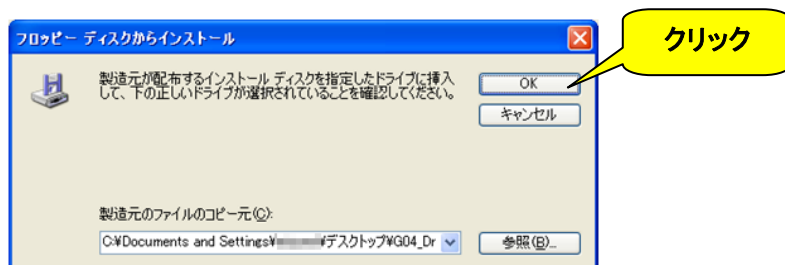
→「Masa Golf COM Port のプロパティ」ウインドウが表示されます。

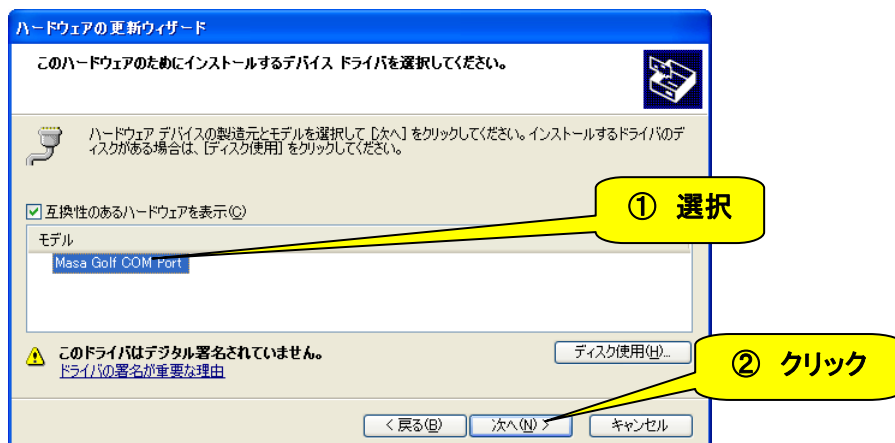
(「デバイスの状態」の表示は下の画面とは異なる場合があります。)

(6) 「Masa Golf COM Port のプロパティ」の上側の「ドライバ」タブをクリックします。

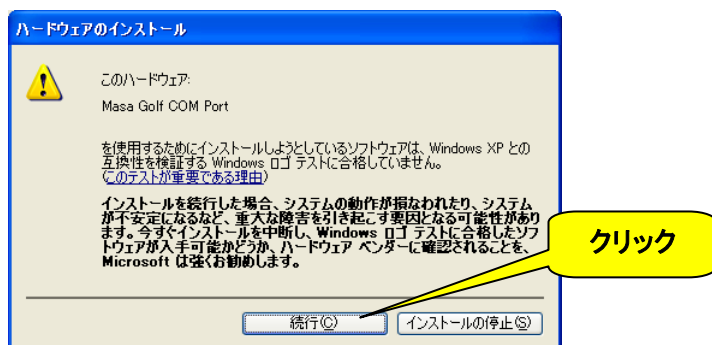
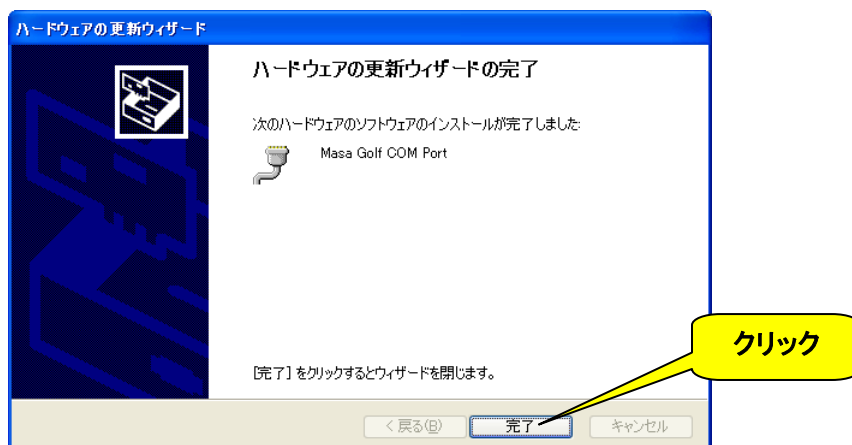
(7) 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

→「ハードウェアの更新ウィザード」ウインドウが表示されます。

(8) 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択してから、「次へ」ボタンをクリックします。

(9)「検索とインストールのオプションを選んでください。」と表示された画面で「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択してから、「次へ」ボタンをクリックします。

(10)「ハードウェアの種類」で「ポート(COM と LPT)」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。

(11)「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選択してください。」と表示された画面で「ディスク使用」ボタンをクリックします。

(12)「フロッピー ディスクからインストール」ウインドウの「参照」ボタンをクリックします。

(13)弊社サイトよりダウンロードされたデバイスドライバのフォルダ内の「Masa.inf」というファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

※ 本書の手順どおりに行っている場合は、「デスクトップ」以下に展開されています。

(14)「フロッピー ディスクからインストール」ウインドウの「OK」ボタンをクリックします。

→「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選択してください。」と表示された画面で「モデル」内に「Masa Golf COM Port」が表示されます。

(15)「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選択してください。」と表示された画面で「モデル」内の「Masa Golf COM Port」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

(16)デバイスドライバのインストールが開始されます。

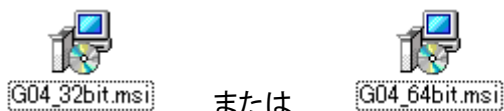
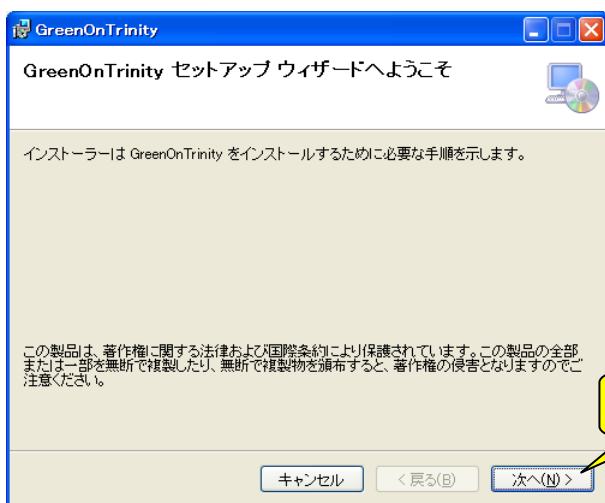
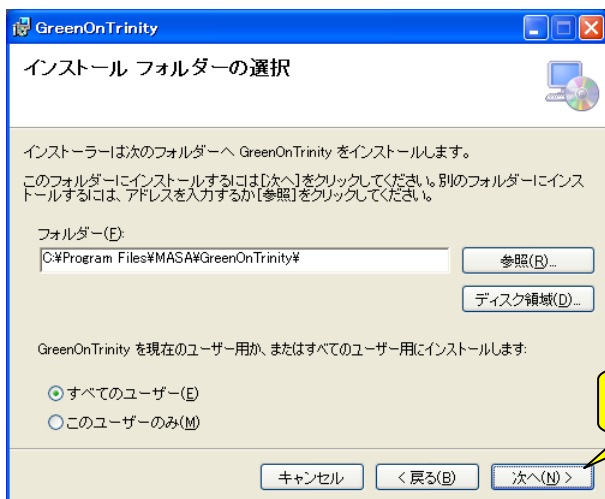
→ここで、「ハードウェアのインストール」ダイアログが表示された場合は「続行」ボタンをクリックしてください。

(17)「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら「完了」ボタンをクリックします。

→これでデバイスドライバのインストールが完了しましたので、「Masa Golf COM Port のプロパティ」ウインドウを閉じます。

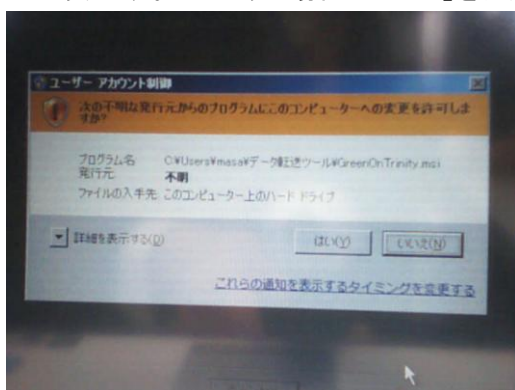
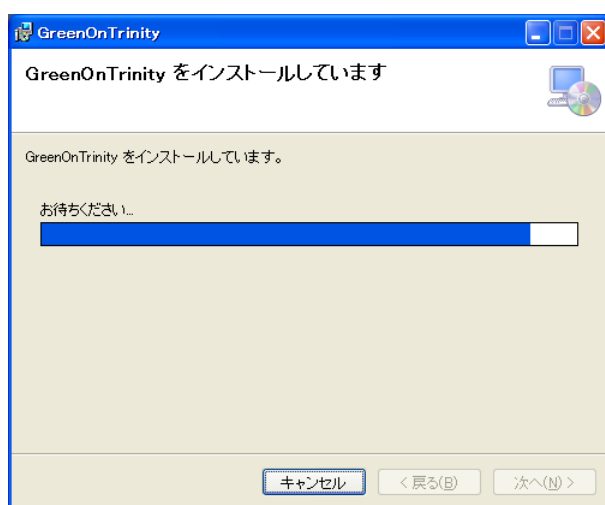
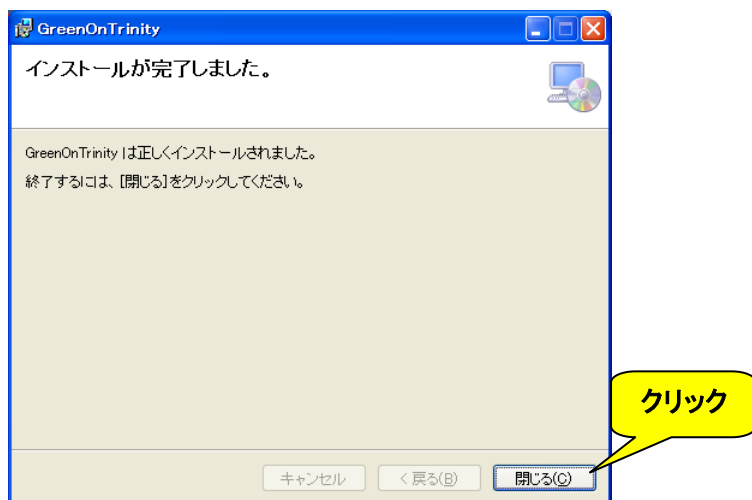
(18)グリーンオン・トリニティをパソコンから一旦外して、再度接続します。そうすると、パソコンがグリーンオン・トリニティを認識して、グリーンオン・トリニティ本体画面に「USb」が表示されます。

3.3. データ転送ツールのインストール

以下の手順にて、グリーンオン・トリニティのデータ転送ツールをインストールします。

※ はじめてお使いになる時のみ

(1) デスクトップ上の G04_32bit.msi(64 ビット OS の場合は G04_64bit.msi)をダブルクリックします。

(2) 「次へ」をクリックします。

(3) インストールフォルダー、ユーザー設定を変更せずに「次へ」をクリックします。

(4) 「次へ」をクリックします。

Windows Vista および Windows 7 の場合は、以下のように「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがあります。このような場合は「はい」をクリックしてください。

(5) インストール中

(6) 「閉じる」をクリックして、インストールを終了します。

(7) インストールが完了すると、デスクトップに「グリーンオン・トリニティ」、スタートメニュー→プログラム→MASA フォルダに、「グリーンオン・トリニティ データ転送ツール」のショートカットが作成されます。

4. 使用方法

グリーンオン・トリニティ データ転送ツールの使用方法を以下に記述します。

4.1. デバイスの接続

グリーンオン・トリニティ データ転送ツールを使用する前に、必ずグリーンオン・トリニティ本体を付属の USB ケーブルを用いてパソコンに接続してください。

接続後に、本体の画面表示が以下のように「USb」と表示されていることを確認します。

（表示されない場合はデバイスドライバのインストールを行った後、再度接続してください。）

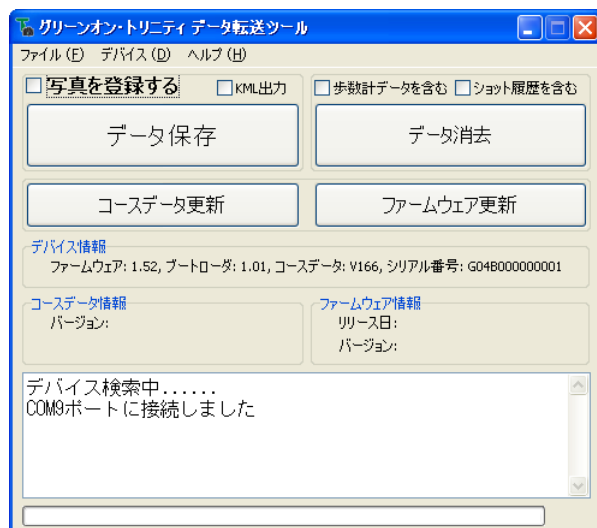
注意：データ転送ツール使用中は絶対に USB ケーブルを抜かないでください！！

4.2. データ転送ツールの起動

以下のいずれかの方法で、グリーンオン・トリニティ データ転送ツールを起動します。

- デスクトップ上のショートカット「グリーンオン・トリニティ」をダブルクリック
- 「スタート」→「すべてのプログラム」→「MASA」→「グリーンオン・トリニティ データ転送ツール」を選択

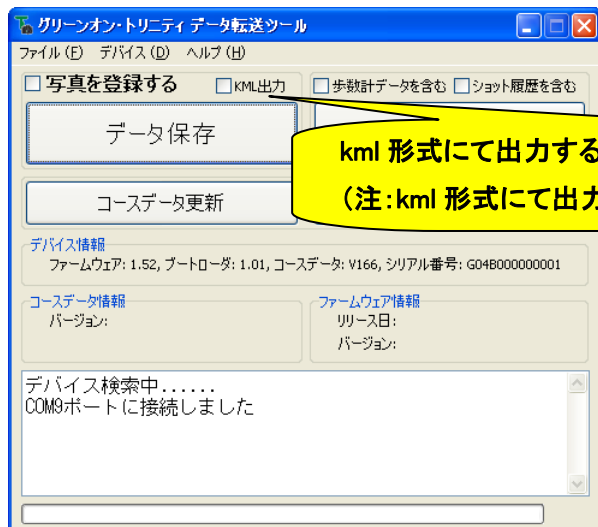
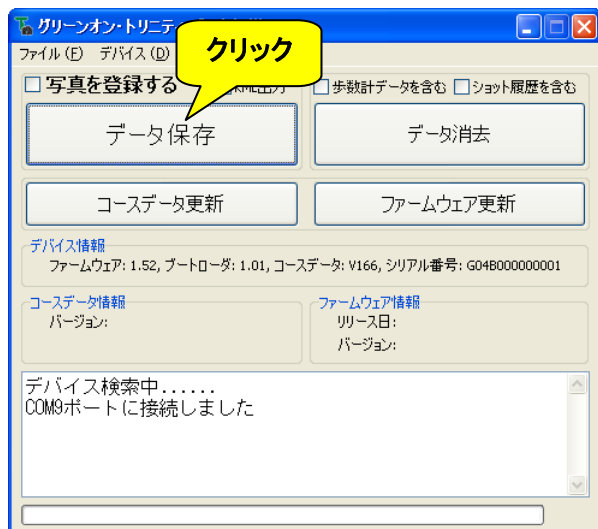
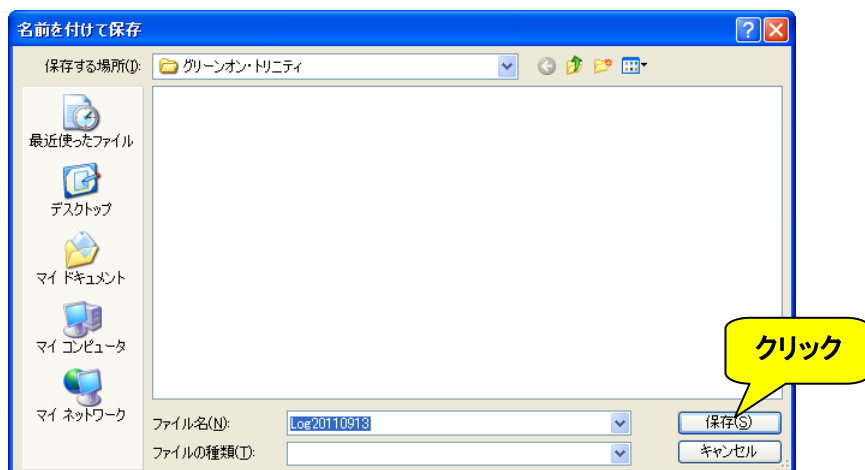
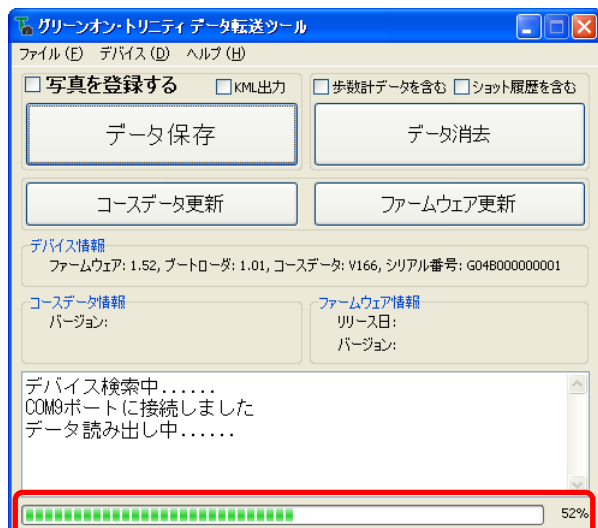
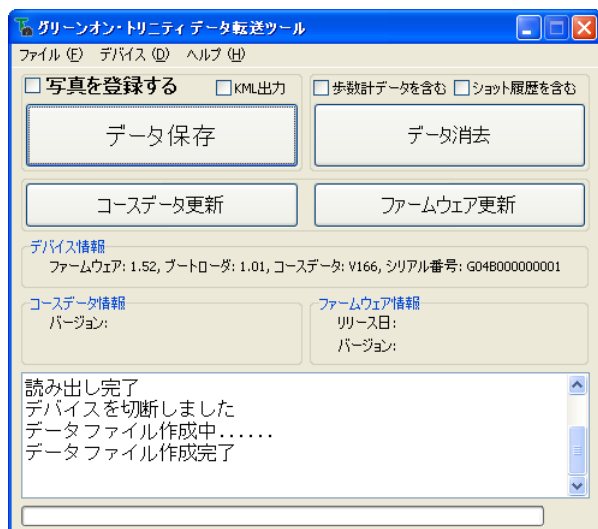
起動すると、以下のようにウインドウが表示されます。

（「COMXX ポートに接続しました」の XX 部分の数字は環境によって異なります。）

グリーンオン・トリニティ本体をパソコンに接続せずにデータ転送ツールを起動してしまった場合は、本体を接続してから「デバイス」→「接続」を選択することにより、データ転送を行うことが可能となります。

4.3.　歩数計データ、GPS ログデータ、飛距離測定（ショット履歴）データの保存

以下の手順にて、歩数計データ、GPS ログデータおよび飛距離測定（ショット履歴）データの保存を行います。

(1) GPS ログファイルを kml 形式にて出力する場合は「KML 出力」のチェックを ON にします。

（このチェックが OFF になっている場合は、kmz 形式にて出力されます。kml 形式にて出力すると GPS ログデータファイルのサイズが大きくなるため、通常はチェックを OFF としておくことをお薦めします。）

(2) 「データ保存」をクリックします。

(3) ファイル名を必要に応じて変更し、「保存」をクリックします。

(4) データ読み出し中(進行状況がウインドウ下部に表示されます。)

(5) データ保存完了

(6) 「マイ ドキュメント」→「グリーンオン・トリニティ」フォルダに、データファイルが保存されます。

以下の 5 つのファイルが保存されます。(以下の「ファイル名」は手順(3)にて指定したファイル名です。)

「ファイル名.csv」ファイル

歩数計データファイル(Microsoft Excel、OpenOffice.org Calc などで閲覧可能)

当日から 7 日前までの歩数、運動歩数、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量が記録されています。

このファイルは、グリーンオン倶楽部内の「歩数計データ管理」に登録が可能です。

「ファイル名.kmz」ファイル(または「ファイル名.kml」ファイル)

GPS ログファイル(Google Earth で閲覧可能)

GPS ロガー機能を用いて記録した連続ログ、ポイントログが記録されています。

記録された地点ごとに、以下の情報が記録されています。

- 時刻
- 経度
- 緯度

- 速度
- 歩行状態（停止、通常歩行、運動歩行のいずれか）
- 歩数（記録した日の、その地点までに歩いた歩数）

このファイルは、グリーンオン倶楽部内の「歩数計データ管理」に登録が可能です。
（但し、ファイルサイズは 10MB 未満のものに限ります。）

「ファイル名.set」ファイル

歩数計設定情報ファイル
グリーンオン・トリニティの歩数計の設定値（体重、歩幅）が記録されています。
このファイルは、グリーンオン倶楽部内の「歩数計データ管理」に登録が可能です。

「ファイル名_score.txt」ファイル

スコアファイル
飛距離測定情報を元に、ラウンドした各ホールのショットデータが記録されています。
このファイルは、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」に登録が可能です。
なお、スコア記録に関しましては以下の制限事項がございますので、ご注意ください。

(1) グリーンオン・トリニティ本体では、各ホールのパット数の入力はできません。パット数の入力は、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」の「スコア登録」画面にて行ってください。
(2) あるコースの 1 番ホール～9 番ホールでショット地点を登録した後に同じコースの 1 番ホールでショット地点を登録した場合は、score.txt には別のラウンドとして記録されます。

スコア管理についての詳細は、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」より、マニュアルを参照してください。

「ファイル名_mps.kml」ファイル

ショット履歴ファイル
ラウンドした各ホールのショット地点の位置情報が記録されています。
このファイルは、グリーンオン倶楽部内の「スコア管理」に登録が可能です。

(7) ログ表示の例

「ファイル名.kmz」ファイルを Google Earth で開くと、航空写真上に連続ログの軌跡とポイントログの地点が表示されます。

各地点をクリックすると、時刻、経度、緯度、速度、歩行状態、歩数が表示されます。

4.4. 歩数計データ、GPS ログデータ、飛距離測定（ショット履歴）データの保存（写真貼り付け）

旅の思い出を残す手段といえば「写真」ですが、実際に歩いた場所と写真を撮影した場所が一目瞭然ならば思い出もより鮮明に――。
グリーンオン・トリニティとデジタルカメラがあれば、そんな使い方も可能です。

本ソフトウェアの機能である「写真貼り付け」を使うと、右図のように地図上に移動した軌跡を表示するだけでなく、撮影を行った地点に写真を貼り付けて表示することが可能となります。

最近は GPS を搭載して位置情報を記録するカメラも発売されておりますが、本機能では写真データに「**Exif**」情報として記録された撮影日時を使用し、GPS ログ（連続ログ）を記録した日時と写真を撮影した日時を照合することにより、写真を貼り付ける位置を決定しています。このため、本機能をお使いになる前に**デジタルカメラの日付と時刻を正確に合わせておく必要があります**。
但し、Exif 情報にはタイムゾーン情報（世界標準時との時差）が記録されません。従いまして、グリーンオン・トリニティとデジタルカメラを海外にてお使いになる場合は、デジタルカメラの日付と時刻はデータ転送ツールを動かすパソコンと同じタイムゾーンに合わせるようにしてください。

※「2.3 写真貼り付け機能の動作環境」にも記述したとおり、本機能をお使いいただくには、以下の周辺機器およびソフトウェアが必要です。

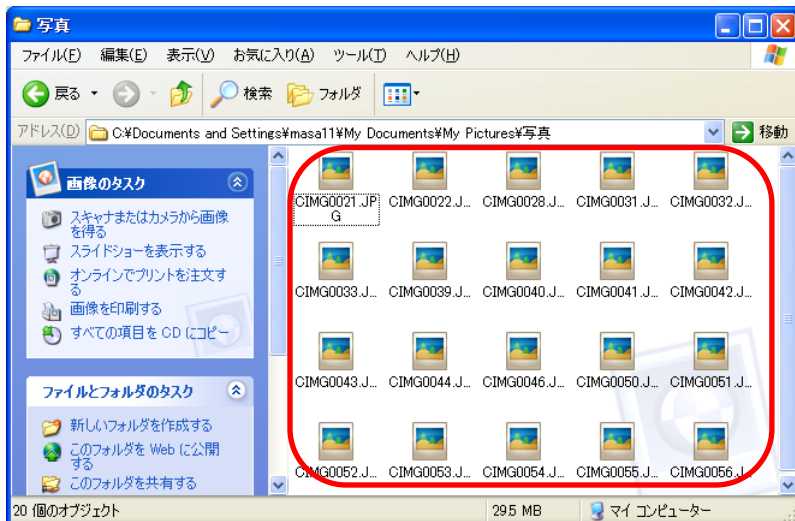
(1) デジタルカメラ（Exif 情報の記録に対応しているカメラ）
(2) Google Earth（バージョン 6.0 以降）
(3) バージョン 1.10 以降のデータ転送ツール

なお、写真貼り付けには以下の制限事項がございますので、ご注意ください。

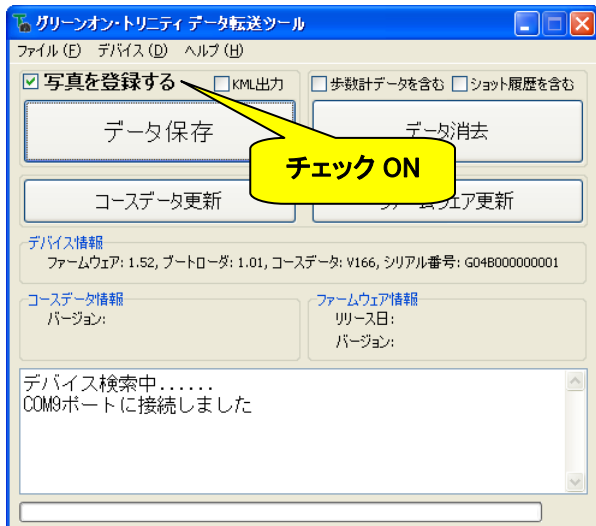
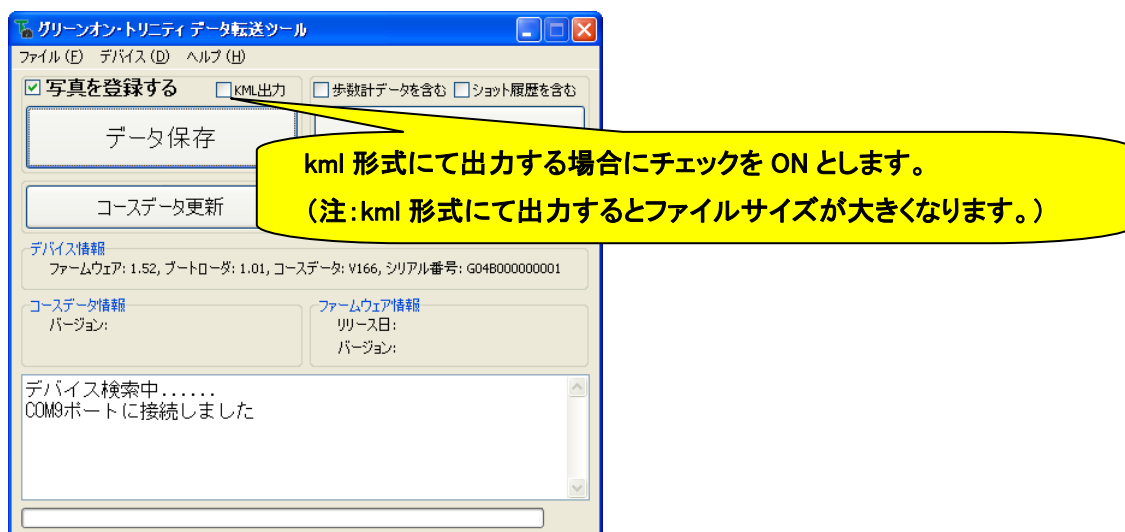
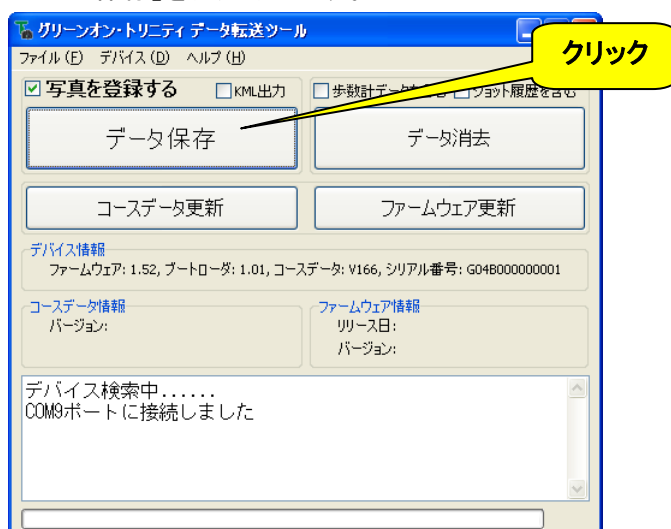
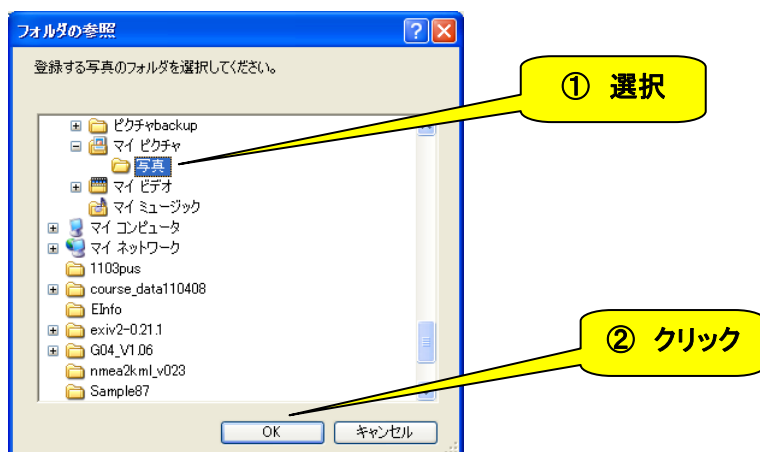
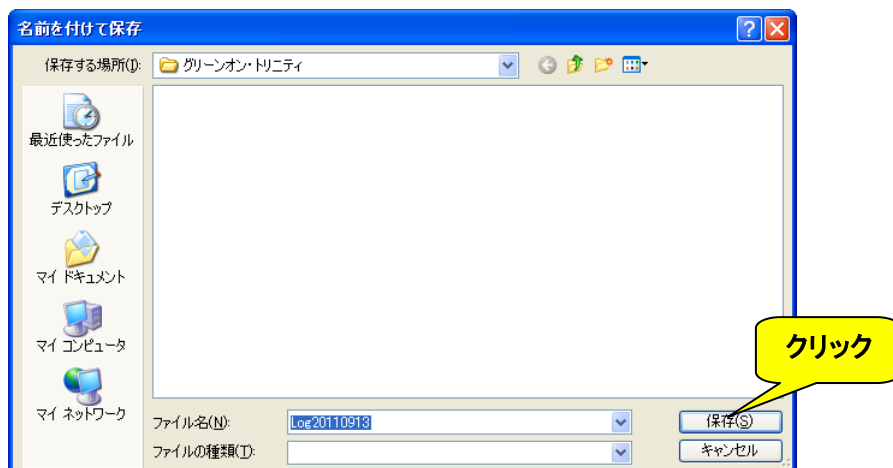
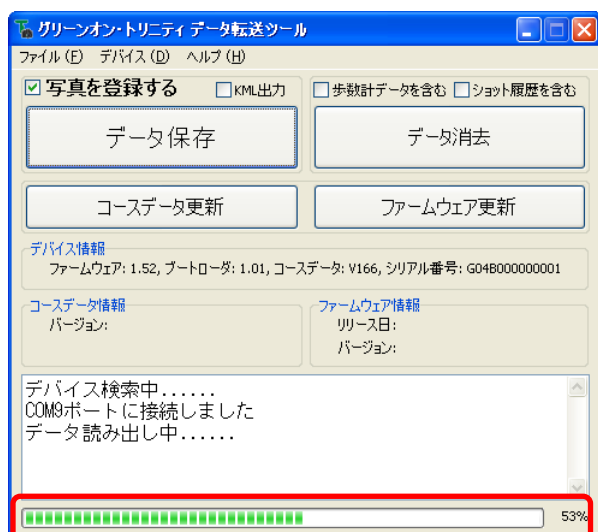
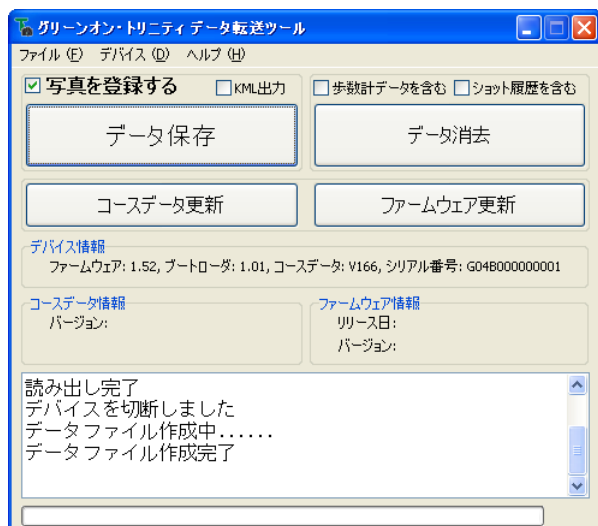
(1) 作成された KMZ ファイルを Google Earth で開くことのできるファイルサイズの上限は約 100MB です。
(2) 90 秒（1 分 30 秒）以内に複数枚撮影された写真を貼りつけようとした場合は、そのうちで最後の写真のみが貼り付けられます。

以下の手順にて、歩数計データ、GPS ログデータおよび飛距離測定(ショット履歴)データの保存(写真貼り付け)を行います。

(1) GPS ログデータに貼り付けを行う写真を 1 つのフォルダにコピーします。

ここでは、「マイ ピクチャ」フォルダに「写真」というフォルダを作成します。

フォルダ内にログ記録日時より前に撮影された写真データが存在しても問題はありません。

写真を貼り付ける場所(ポイント)は、連続ログのうちの、写真が撮影された日時に最も近い日時のポイントが選ばれますので、ログ記録日時より前に撮影された写真が貼り付けられることはありません。

(2) データ転送ツールを起動し、「写真を登録する」のチェックを ON にします。

(3) GPS ログファイルを kml 形式にて出力する場合は「KML 出力」のチェックを ON にします。
(このチェックが OFF になっている場合は、kmz 形式にて出力されます。kml 形式にて出力すると GPS ログデータファイルのサイズが大きくなるため、通常はチェックを OFF としておくことをお薦めします。)

(4) 「データ保存」をクリックします。

(5) 「フォルダの参照」ダイアログにて、「マイ ピクチャ」配下の「写真」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

(6) ファイル名を必要に応じて変更し、「保存」をクリックします。

(7) データ読み出し中（進行状況がウインドウ下部に表示されます。）

(8) データ保存完了

(9) 「マイ ドキュメント」→「グリーンオン・トリニティ」フォルダに、データファイルが保存されます。

保存されるファイルの種類は「4.3　歩数計データ、GPS ログデータ、飛距離測定（ショット履歴）データの保存」の場合と同様ですが、貼りつけた写真のデータは以下の場所に出力されます。

「kml」ファイル

GPS ログファイルを保存したフォルダに、「ファイル名_files」（ファイル名は手順(6)にて指定したもの）というフォルダが作成され、その内部に貼りつけられた写真データが格納されています。

※ 写真貼り付けを行った状態で kml 形式にて出力した GPS ログデータを他のフォルダ／パソコンにコピーする場合、kml ファイルと「ファイル名_files」フォルダを共にコピーしないと写真を見ることができなくなります。

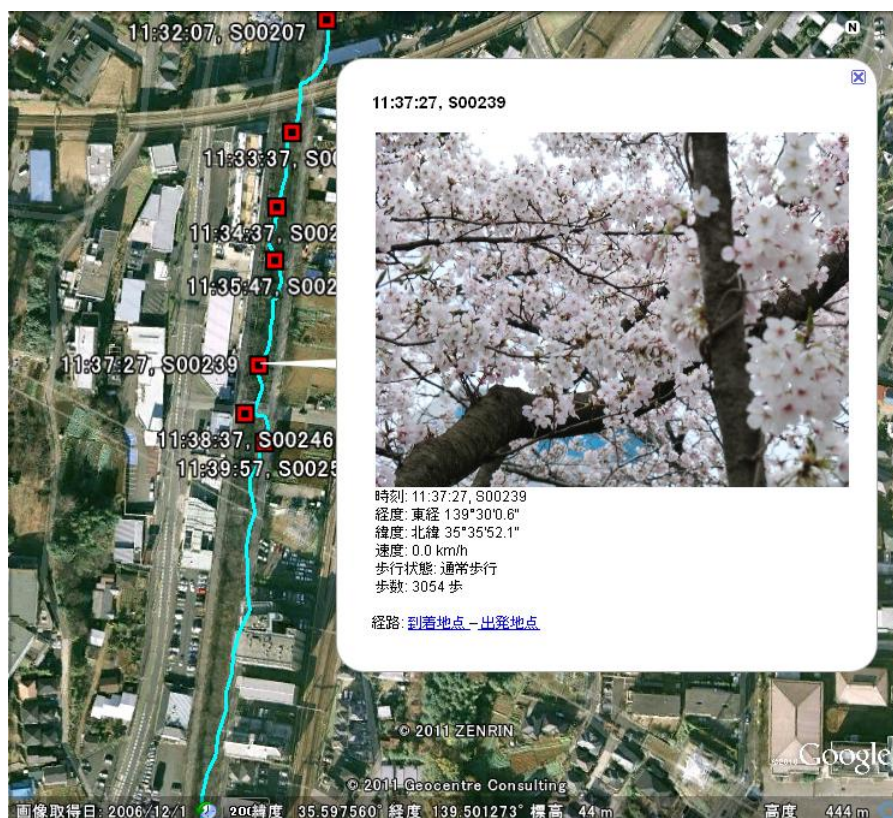
「kmz」ファイル

「kmz」ファイル内に含まれています。

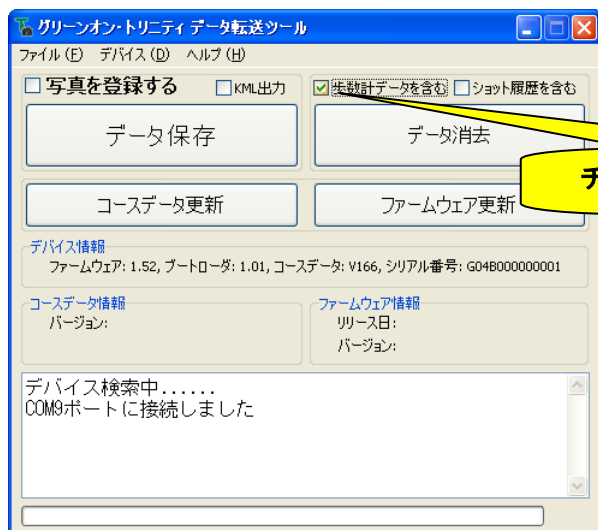
「kmz」、「kml」いずれのファイル形式も「歩数計データ管理」への登録は可能ですが、登録できるファイルのサイズは 10MB 未満に限ります。このとき、写真は登録されません。

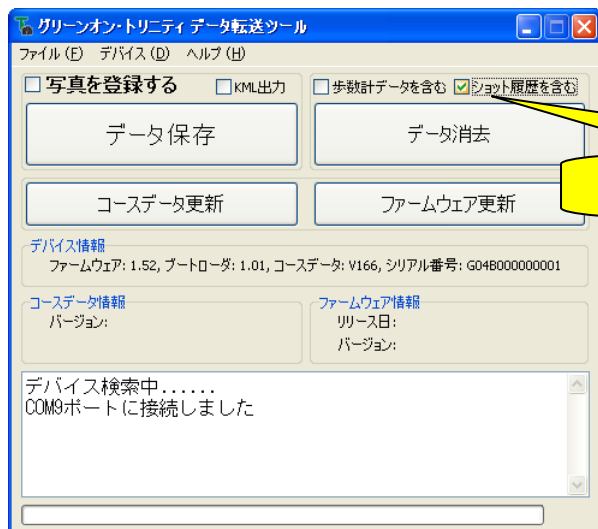
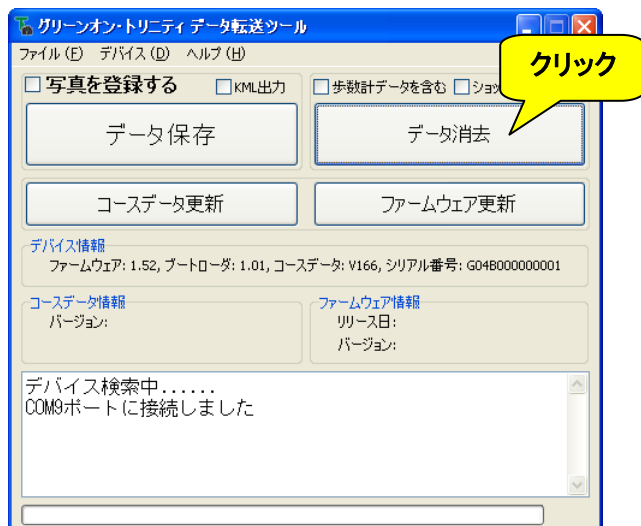
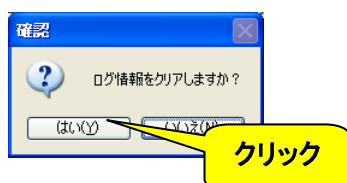
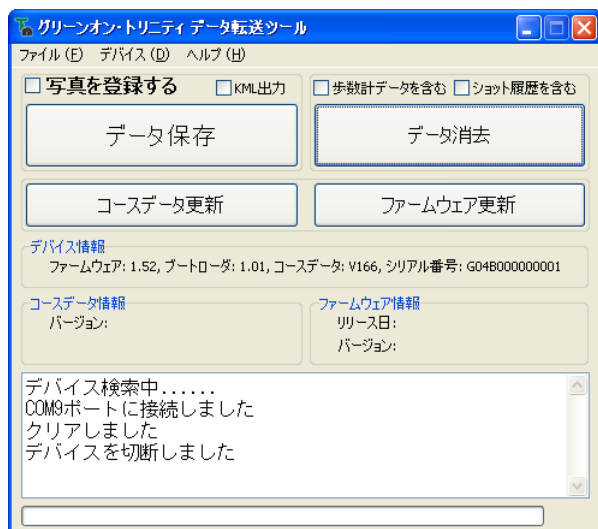
(10)写真貼り付けの例

kmz ファイルを開くと、Google Earth に赤色で表示されているポイントに写真が貼り付けられています。

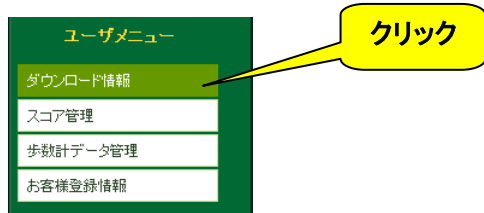
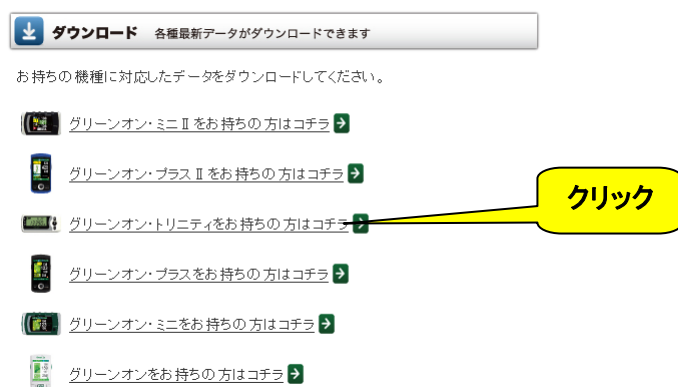
赤いポイントをクリックすると、写真とその地点の時刻、経度、緯度、速度、歩行状態、歩数が表示されます。

4.5. ログデータの消去

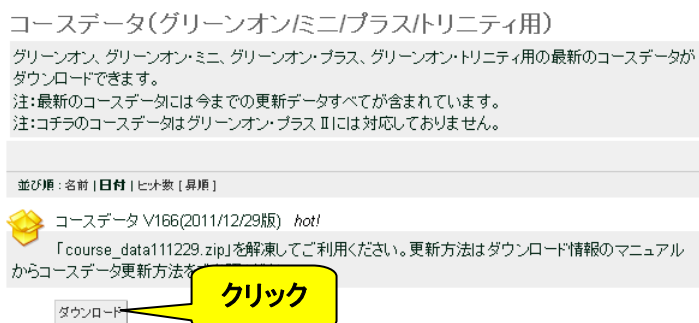
以下の手順にて、グリーンオン・トリニティに記録されたログデータの消去を行います。

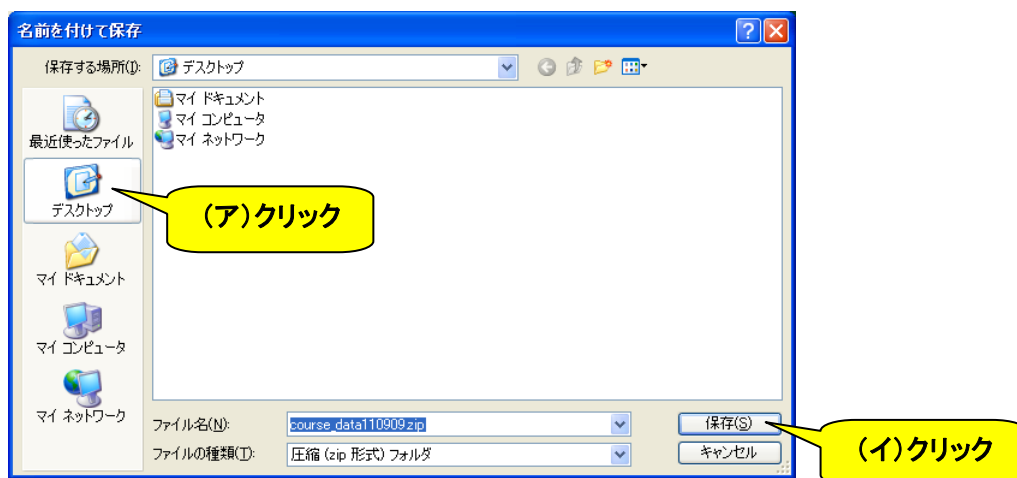
(1) GPS ログデータとともに歩数計データを消去する場合は、「歩数計データを含む」のチェックを ON にします。

(2) GPS ログデータとともにショット履歴データを消去する場合は「ショット履歴を含む」のチェックを ON にします。

※ 「歩数計データを含む」と「ショット履歴を含む」を両方 ON にすることも可能です。

(3) データ消去」をクリックします。

(4) 以下のように確認ダイアログが表示されます。データの消去を実行する場合は「はい」をクリックします。

(5) データ消去完了

4.6. コースデータの更新

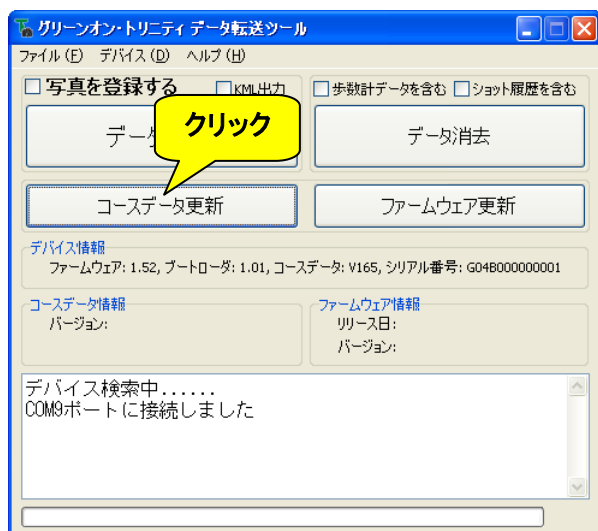
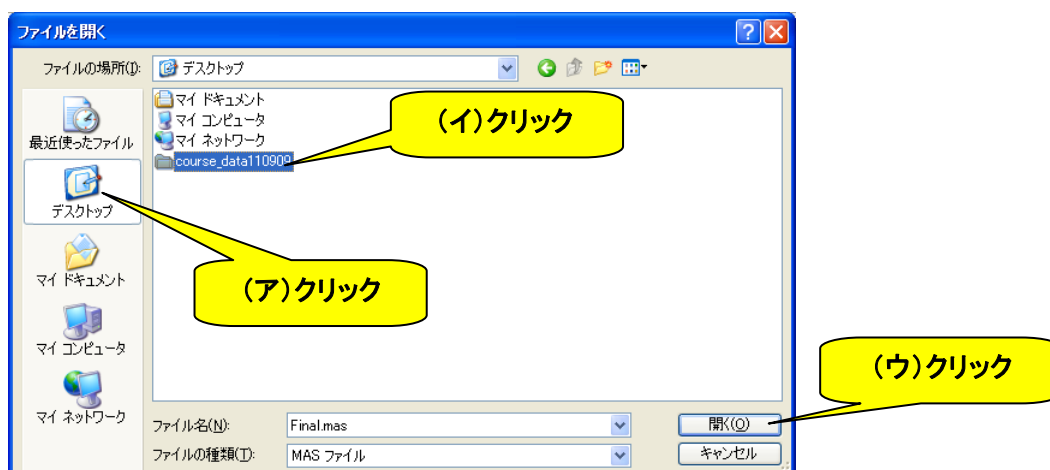
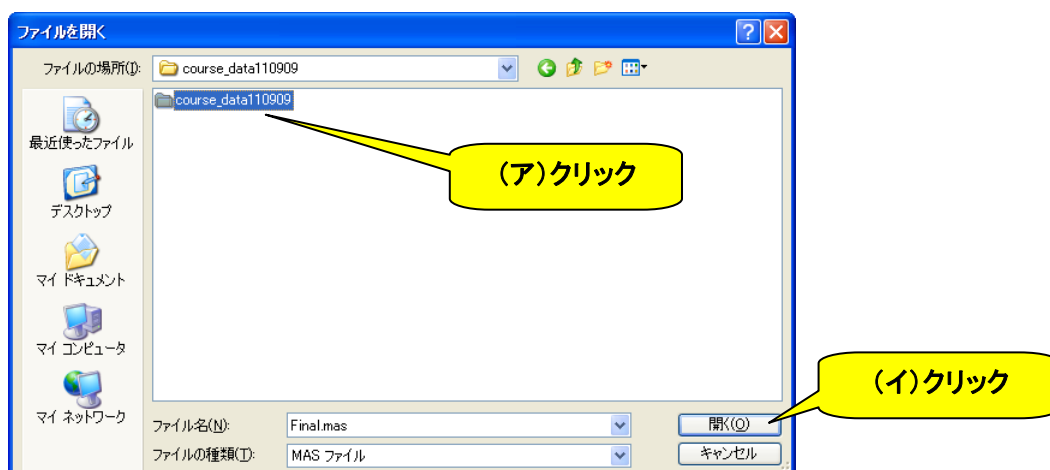
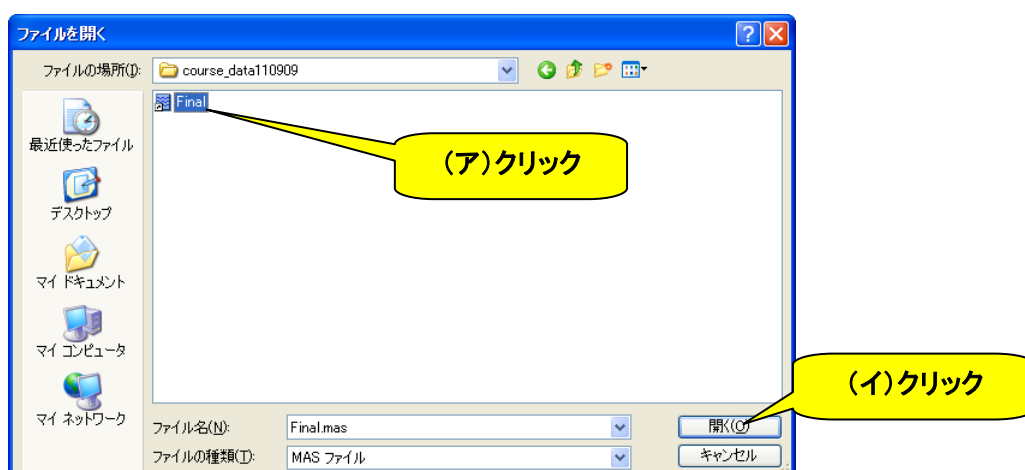
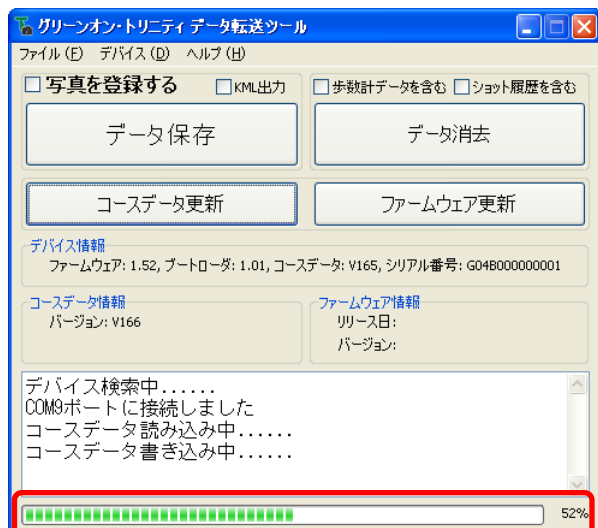
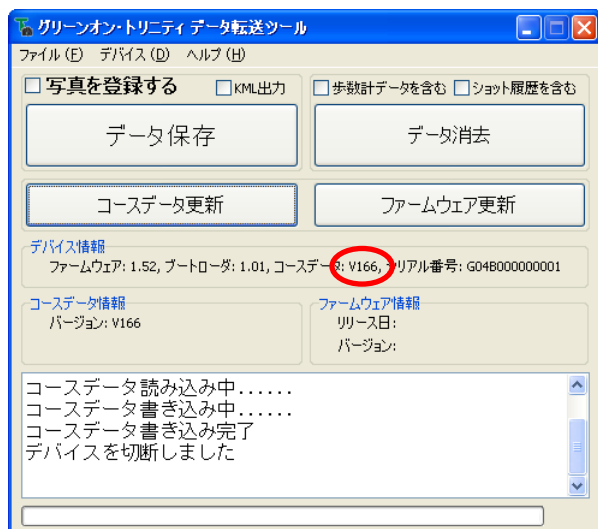
以下の手順にて、コースデータの更新を行います。

(1) グリーンオン倶楽部にログインし、「ユーザメニュー」の「ダウンロード情報」をクリックします。

(2) 「ダウンロード」の「グリーンオン・トリニティをお持ちの方はコチラ」をクリックします。

(3) 「グリーンオン・トリニティ関連」の「コースデータダウンロード」をクリックします。

(4) 「コースデータ(グリーンオン/ミニ/プラス/トリニティ用)」の「ダウンロード」をクリックします。

(5) 「保存」をクリックし、コースデータファイルの保存を行います。

(6) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

(7) デスクトップに保存されたコースデータファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することにより、ZIP ファイルを展開します。(Lhaca のような解凍ツールを使うことも可能です。)

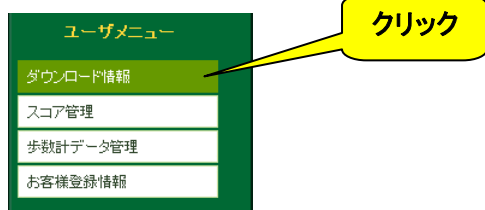
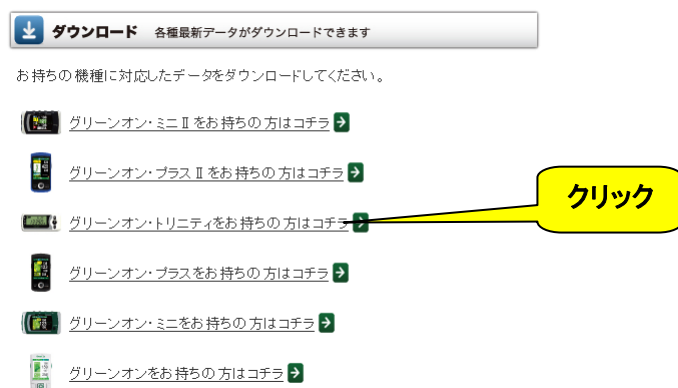
(8) パソコンとグリーンオン・トリニティを USB ケーブルで接続し、データ転送ツールを起動します。

(9) 「コースデータ更新」をクリックします。

(10)「ファイルを開く」ダイアログの左部分の「デスクトップ」をクリックし、右に表示された「course_dataYYMMDD (YYMMDD=コースデータのリリース年月日)」フォルダを選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(11)フォルダを開くと、もう一つ「course_dataYYMMDD (YYMMDD=コースデータのリリース年月日)」フォルダがありますので、選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(12)フォルダ内の「Final」を選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(13)コースデータ書き込み中（進行状況がウインドウ下部に表示されます。）

(14)コースデータ更新完了（デバイス情報の「コースデータ」バージョンが更新されます。）

※ コースデータ更新完了後は、デスクトップにあるコースデータの ZIP ファイルや、ZIP ファイルを展開して出来上がったフォルダを削除しても問題はありません。

4.7. ファームウェアの更新

以下の手順にて、グリーンオン・トリニティのファームウェアの更新を行います。

※ ファームウェア更新を行うと、歩数計設定と当日の歩数データは消えてしまいます。ご注意ください！！

(1) グリーンオン倶楽部にログインし、「ユーザメニュー」の「ダウンロード情報」をクリックします。

(2) 「ダウンロード」の「グリーンオン・トリニティをお持ちの方はコチラ」をクリックします。

(3) 「グリーンオン・トリニティ関連」の「ファームウェア」をクリックします。

(4) 「グリーンオン・トリニティの最新ファームウェア」の「ダウンロード」をクリックします。

※ グリーンオン・トリニティのファームウェアには「簡単操作バージョン（V1.51 以降）」と「オプション機能搭載バージョン（V1.10 以降）」の 2 つのバージョンがあります。どちらかお好みのファームウェアをダウンロードしてください。

グリーンオン・トリニティのファームウェア

グリーンオン・トリニティの最新ファームウェアがダウンロードできます。

並び順：名前 | **日付** | ヒット数 [昇順]

グリーンオン・トリニティの最新ファームウェア（V1.11)(20111220更新）NEW!
アップデート内容:
●充電制御の方法を改善しました。
なるべく最新のファームウェアをご利用頂きますようお願い致します。

・飛距離測定機能、ショット履歴記録機能やスコア管理機能（Web上）を利用したい
という方はコチラのファームウェアをご利用ください。
なお、ファームウェア更新後にデータ転送ツールを使用し
必ず下記の作業を行ってください。
●データ消去（必要に応じてデータ保存してください）
●コースデータ更新（再書き込み）
※データ消去、コースデータ更新を行わないと、動作が
不安定になる可能性があります。 *hot!*

ダウンロードファイル G04_V1.11.zipを解凍後の「G04.mas」ファイルをデータ転送ツールでご利用ください。詳しくは「データ転送ツール取扱説明書（G04_datatran_manual.pdf）」をご覧ください。

ダウンロード

オプション機能搭載バージョンをダウンロードする場合はコチラをクリック

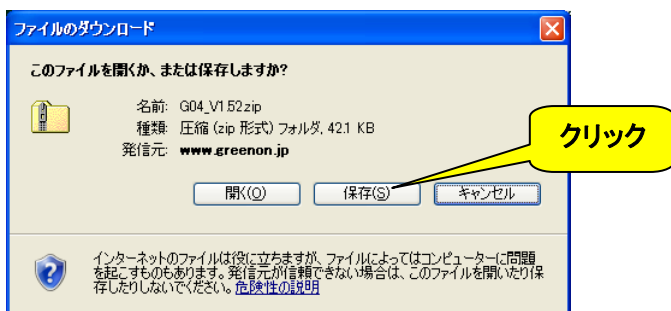
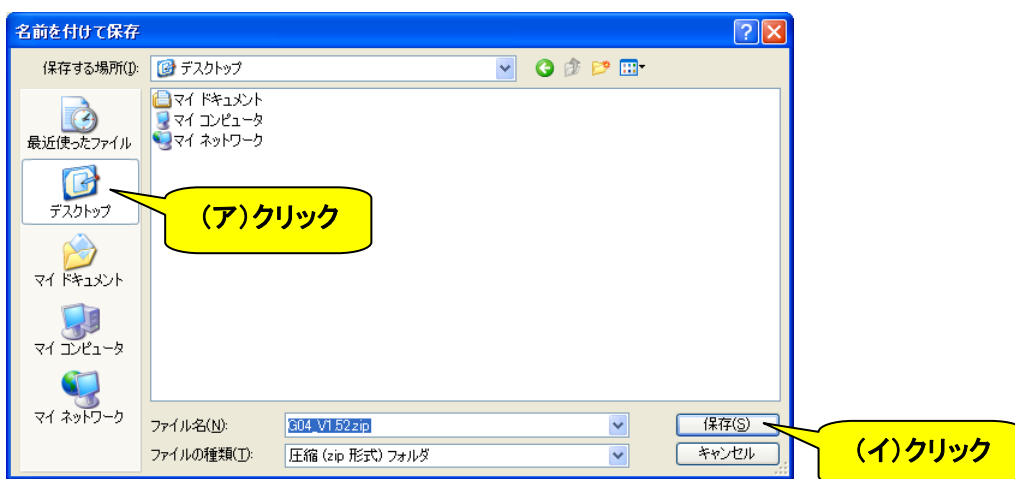
グリーンオン・トリ
アップデート内容:
●充電制御の方法を改善しました。
なるべく最新のファームウェアをご利用頂きますようお願い致します。

・飛距離測定機能、ショット履歴記録機能が必要ない
・煩雑な操作をせず、簡単に使いたい
という方はコチラのファームウェアをご利用ください。
なお、ファームウェア更新後にデータ転送ツールを使用し
必ず下記の作業を行ってください。
●データ消去（必要に応じてデータ保存してください）
●コースデータ更新（再書き込み）
※データ消去、コースデータ更新を行わないと、動作が
不安定になる可能性があります。 *hot!*

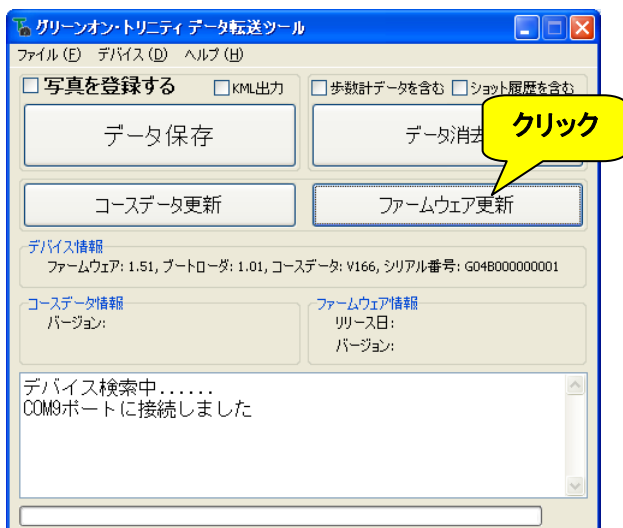
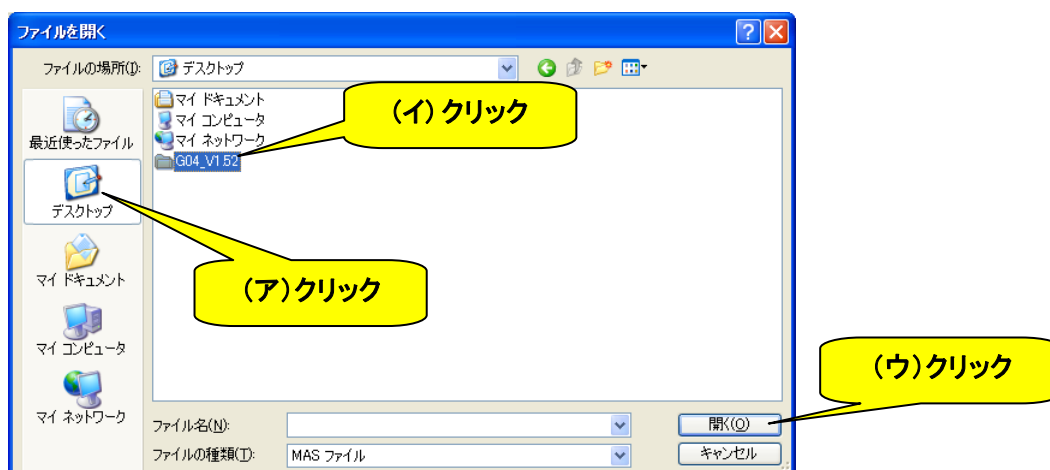
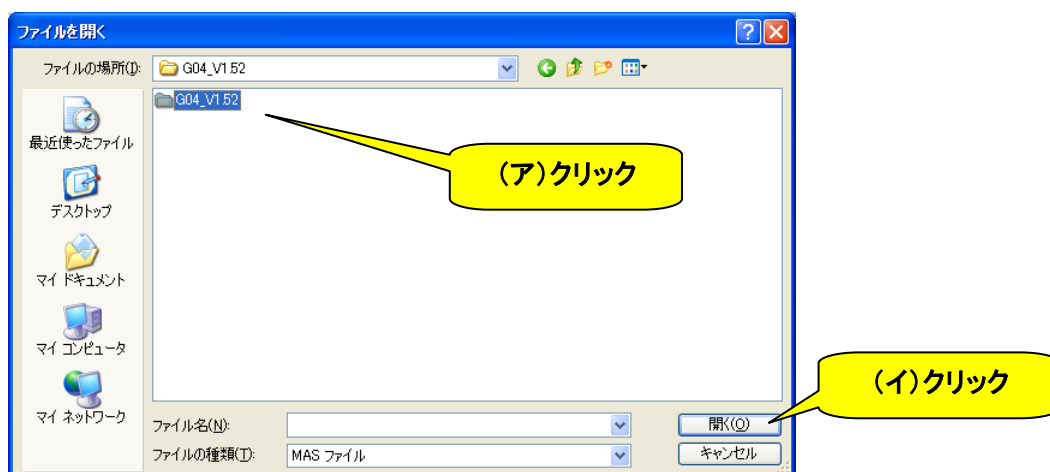
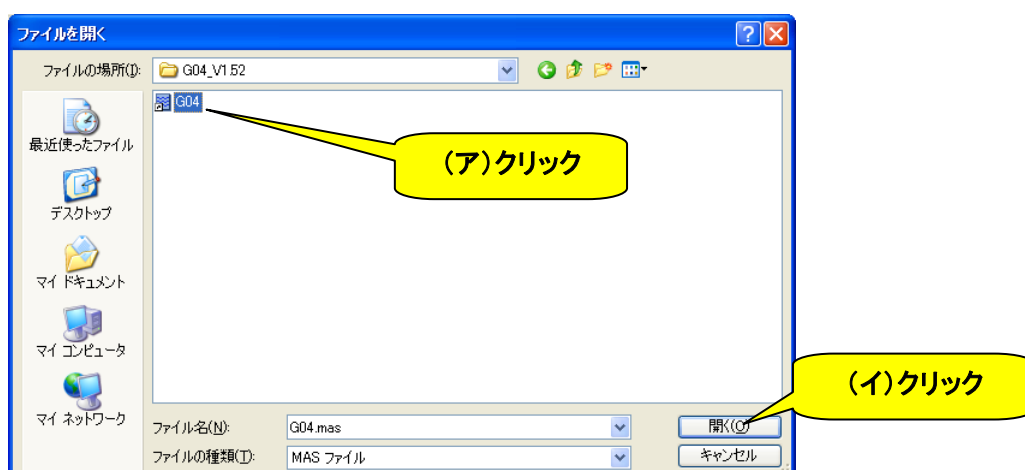
ダウンロードファイル G04_V1.52.zipを解凍後の「G04.mas」ファイルをデータ転送ツールでご利用ください。詳しくは「データ転送ツール取扱説明書（G04_datatran_manual.pdf）」をご覧ください。

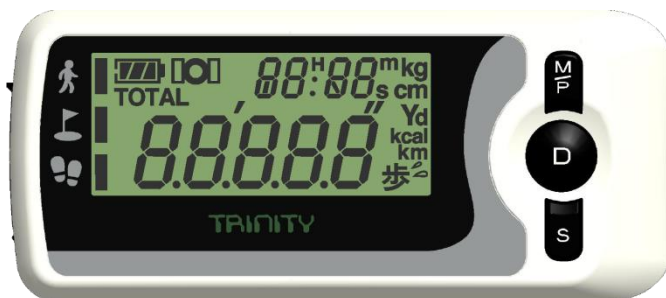
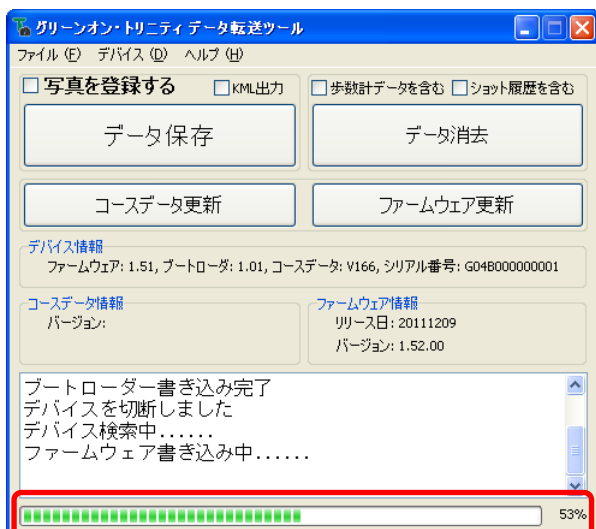
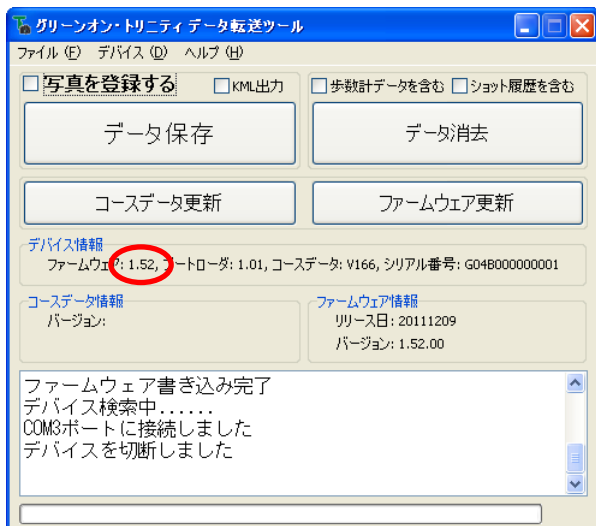
ダウンロード

簡単操作バージョンをダウンロードする場合はコチラをクリック

(5) 「保存」をクリックし、ファームウェアファイルの保存を行います。

(6) ここでは「デスクトップ」に保存します。「名前を付けて保存」ダイアログ左部分の「デスクトップ」をクリックし、「保存」をクリックします。

(7) デスクトップに保存されたファームウェアファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することにより、ZIP ファイルを展開します。(Lhaca のような解凍ツールを使うことも可能です。)

(8) パソコンとグリーンオン・トリニティを USB ケーブルで接続し、データ転送ツールを起動します。

(9) データ転送ツールを起動した状態で、「ファームウェア更新」をクリックします。

(10)「ファイルを開く」ダイアログの左部分の「デスクトップ」をクリックし、右に表示された「G04_VX.XX (X.XX=ファームウェアバージョン)」フォルダを選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(11)フォルダを開くと、もう一つ「G04_VX.XX (X.XX=ファームウェアバージョン)」フォルダがありますので、選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(12)フォルダ内の「G04」を選択(クリック)して「開く」をクリックします。

(13)以下のように、グリーンオン･トリニティ本体の画面のすべてのインジケータが点灯します。

<u>**※ このような表示となりますが、故障ではありません。**</u>

(14)ファームウェア書き込み中(進行状況がウインドウ下部に表示されます。)

(15)ファームウェア更新完了(デバイス情報の「ファームウェア」バージョンが更新されます。)

※ ファームウェア更新完了後は、デスクトップにあるファームウェアの ZIP ファイルや、ZIP ファイルを展開して出来上がったフォルダを削除しても問題はありません。

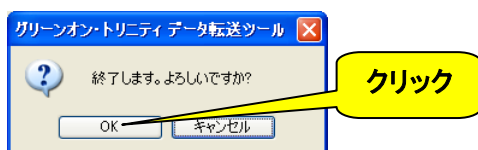
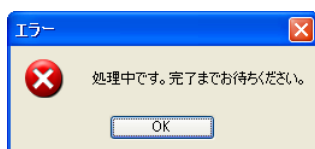
(16)ファームウェア更新完了後は、グリーンオン・トリニティ本体の画面表示は「USb」となっています。

(17)ファームウェア更新完了後に、「4.5 ログデータの消去」、「4.6 コースデータの更新」の手順に従い、データ消去およびコースデータの更新を行ってください。

※ V1.08 以前のファームウェアから最新のファームウェアに更新する場合は、内蔵メモリの使用割り当てが変更となりますので、必ずデータ消去およびコースデータの再書き込みを行ってください。

データ消去、コースデータ更新を行わないと、動作が不安定になる可能性があります。

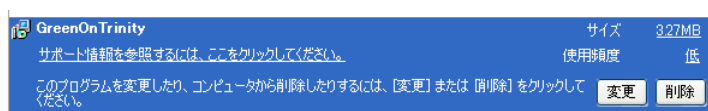
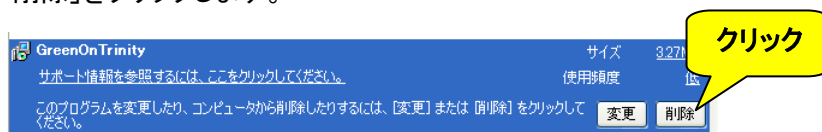
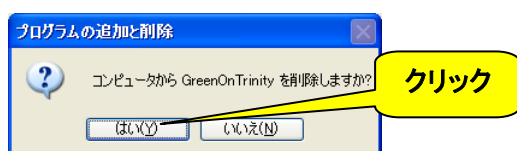
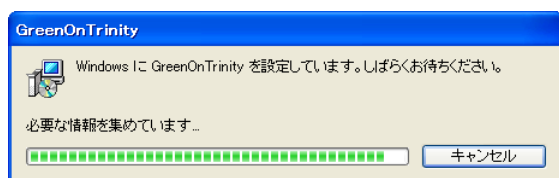
4.8. データ転送ツールの終了

「ファイル」→「終了」を選択、またはウインドウ右上の「×」ボタンをクリックすると、以下のように確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」をクリックするとデータ転送ツールが終了します。

データ転送処理実行中に終了しようとすると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。
このような場合はデータ転送処理が完了するまでお待ちください。

5. データ転送ツールの削除

データ転送ツールを削除する場合は、以下の手順にて行います。

(1) 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

(2) 「プログラムの追加と削除」を開きます。

(3) 「現在インストールされているプログラム」一覧より、「GreenOnTrinity」を選択します。

(4) 「削除」をクリックします。

(5) 以下のように確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

(6) グリーンオン・トリニティ データ転送ツールのアンインストールが行われます。

6. データ転送ツールの更新

データ転送ツールを新しいバージョンに更新する場合は、以下の手順にて行います。

(1) 「5 データ転送ツールの削除」の手順に従い、古いバージョンのデータ転送ツールを削除します。

(2) 「3.3 データ転送ツールのインストール」の手順に従い、新しいバージョンのデータ転送ツールをインストールします。

※ デバイスドライバの削除および再インストールは不要です。